

真宗

〈巻頭言〉

2026年 真宗本廟「春の法要」にあたって
世界に響け念仏の声 宗務総長 木越 渉

〈教団の動き〉

第79回宗議会・第76回参議会（臨時会）招集
宗務審議会「真宗本廟崇敬護持のための財源の
検討に関する委員会」答申書提出

東京教区「非戦平和を願うつどい―敗戦80年を
縁として」開催

山陽四国教区「阪神・淡路大震災追弔会」勤まる

〈災害救援本部より〉

勿忘の鐘―2026―

〈お知らせ〉

2026年「安居」開設について

〈ご案内〉

2026年 真宗本廟 春の法要

〈宗会（臨時会）報告〉

2024年度決算概況（要旨）

2024年度真宗大谷派決算書

3月号

2026(令和8)年



阿弥陀堂南の莊川桜

真宗

3月号

第1464号

宗派公式ウェブサイトで
宗派情報の発信を行っています。



各教区・開教区等の
行事一覧



巻頭言—2026年 真宗本廟「春の法要」にあたって……………	2
「世界に響け念仏の声」宗務総長 本越 渉……………	
教団の動き……………	4
第79回宗議会・第76回参議会（臨時会）招集……………	
宗務審議会「真宗本廟崇敬持のための財源の検討に関する委員会」 答申書提出……………	
東京教区「非戦平和を願うつどい—敗戦80年を縁として」開催……………	
山陽四国教区「阪神・淡路大震災追弔会」動まる……………	
〈災害救援本部より〉……………	
勿忘の鐘—2026—……………	10

お知らせ

2026年「安居」開設について……………	12
全日本仏教会 2026年 花まつりポスター・絵はがき頒布開始……………	13

ご案内 2026年 真宗本廟 春の法要

春の法要 日程・催事……………	14
全戦没者追弔法会のご案内……………	17
2026年「春の法要」参拝のご案内……………	18
春の法要出仕要項……………	21

2026年宗会（臨時会）報告

2024年度決算概況（要旨）……………	22
2024年度真宗大谷派決算書……………	24
身元調査は、しない！させない！ゆるさない！……………	30

各種連載

児童教化のページ（598）……………	32
今月のお寺（233）〈常照寺〉「活動の終わりと繋がる思い」……………	34
〈古棚〉……………	35

ご案内・要項

真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】……………	39
（広告）月刊「同朋」3月号—特集「服を着る—どんな世界を身にまとう？」—……………	40
教区真宗学院生募集要項（金沢・名古屋）……………	41
総合相談室……………	42
第109回 中央声明講習会開催要項……………	43
2027年宗務役員（一般職）募集要項……………	45
蓮如さんゆかりの吉崎別院での『御文』講習会 参加者募集……………	46
「蓮如上人御影道中」自主参加者募集……………	47
首都圏教化推進本部職員（法務員）募集要項……………	48
首都圏教化推進本部職員（推進要員）募集要項……………	49
2025年度 心理的サポートの学習会【公開講座】開催要項……………	50
2025年度 ココロダイアル公開講演会 開催要項……………	51
第25回「女性会議」開催要項……………	52
若者教化立ち上げ応援プロジェクト募集要項……………	53
法話のご案内（2026年3月）……………	54
真宗本廟奉仕のご案内……………	55
現在受付中の募集・開催要項等……………	55
真宗教化センター しんらん交流館のご案内……………	56
大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内……………	56
真宗本廟 参拝接待所のご案内……………	58
真宗本廟収骨・読経・帰敬式受付時間表（4月～5月）……………	60
宗派関連ウェブサイト等のご案内……………	62

公示・告示・任免等

……………	63
-------	----

刊行物のご案内

重版出来！



真宗大谷派 儀式軌範

儀式指導研究所 編

真宗大谷派の儀式の意義や歴史を明らかにし、本山・別院・寺院・御門徒宅の儀式、声明、法要や式次第を網羅。

写真付きで荘厳や装束の紹介をしているほか、関連条例も収載した真宗大谷派の儀式を学ぶ決定版。

A5判・箱入り／390頁 定価：3,850円(税込)

真宗の儀式 —声明作法—

真宗大谷派教師養成のための教科書編纂委員会 編

本編「声明作法」、付編「真宗寺院の歴史」の二部構成。仏具、法衣等の写真付きで解説。

A5判／150頁 定価：1,650円(税込)

※このたびの再版においては、2025年1月発行の『真宗大谷派儀式軌範』に準拠した修正を行いました。

教師試験検定に向けて学習される方はもちろん、教団史・声明作法を学ばれる際にはぜひお買い求めください。

改訂 教団のあゆみ —真宗大谷派教団史—

真宗大谷派教師養成のための教科書編纂委員会 編

『教団のあゆみ—真宗大谷派教団史—』を全面改訂。真宗大谷派教団がどのような歴史を歩んできたのかを学ぶ一冊。

A5判／244頁 定価：2,200円(税込)

※本改訂版は、特に明治近代以降を大幅に加筆修正しています。

東本願寺出版

TEL:075-371-9189まで

詳しい書籍情報・試し読みは
東本願寺出版

検索

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

2026年 真宗本廟「春の法要」にあたって

宗務総長 木越 渉



世界に響け念仏の声

宗祖親鸞聖人の御真影まします京都の町が、桜の花で儼くも鮮やかに彩られる春。本年も真宗本廟（東本願寺）において「春の法要」を厳修いたします。

歴史を紐解きますと、宗祖親鸞聖人御誕生八百年（一七七三年）に向けた第一歩として、一九六二（昭和三十七）年四月に五日間の日程で行われたものが、今日につながる「春の法要」の源流であります。当時の『真宗』誌を振り返りますと、一般の参拝を期待した取り組みが様々に志向された様子が窺えます。

それから六十余年を経た現在の真宗本廟に目を向けますと、海外の方々の参拝も多く見られ、国籍や人種を超えて如来の本願に出遇う機縁となる境内は、まさに開教の最前線ともいえる様相を呈しております。

私は、幼少期の八年間を北米パークレーの寺院で過ごしました。言葉も文化も全く異なるキリスト教文化の国・アメリカです。そこにも、お念仏の教えを大切にされるご門

徒がたくさんおられ、私自身そうしたご門徒の皆さんにお育てをいただきました。

昨年、北米を視察した際に、二世三世のご門徒が祖父母と一緒に念仏をされる姿にあらためて出あいました。その方々は、絶対平等の教えである浄土が願うところを知ったときに、この教えは大切だという確信を得たのでしよう。「戦争のない、互いが争わない世界を目指せ」、「清らかなるものを目指せ」、そう叫び続けられている如来の勅命に応える、その恩徳に報いる、そのために我々は仏さまの名を呼ぶのです。念仏申す、そのことの大切さを海の向こうで相続されている姿にあらためて感動を覚えました。

清風宝樹をふくときは

いつの音声いだしつつ

宮商和して自然なり

清浄熱を礼すべし

（『真宗聖典第二版』五七六頁）



阿弥陀堂と莊川桜（2017年植樹）

国と国との関係のみならず、人と人との関係においても価値観がますます多様化する現代社会です。価値観の多様化は時に対立を生みます。我々が生活する娑婆世界では、自らの正義と相手の正義が音を立ててぶつかることがしばしば起こります。しかし、浄土の世界はこの違いまでもが尊く、本来決して響き合わない音と音とが響き合う、差異をみとめる世界がそこにあることをこのご和讃は示してくださっています。浄土という世界に触れ、人間の愚かさを知らされたとき、これまでの自分自身の価値観が揺さぶられ、「愚禿」と名告られた親鸞聖人と同じ大地に頭が下がるのです。

真宗本廟の境内南側には、飛驒の念仏の歴史を眺め続けてきた「莊川桜」、そ



「嘉代子桜」植樹の様子（2025年4月2日）

のすぐそばには、昨年「ナガサキ」から植樹された「非核非戦」の願いを受けた「嘉代子桜」があります。人間の歴史を離れて念仏の歴史はありません。人間を見つめ続けてきたこの二つの桜から、人間を超えて人間を照らし出す世界を教えられています。

さて、本年の春の法要では、どのような出遇いが待っているでしょうか。桜の季節、様々なご縁によって真宗本廟にお参りされる参拝者の方々を丁寧にお迎えさせていただきます。

南無阿弥陀仏

教団の動き

教団の動き

第79回宗議会・第76回参議会(臨時会)招集
―2024年度決算審査―

【1/20〜25】

二〇二六年一月に宗会(臨時会)が招集され、宗議会が一月二十日から二十二日、参議会が一月二十三日から二十五日にわたって開かれました。



宗議会 採決

今回の臨時会は、二〇二四年度の決算を審査するために招集されました。決算案件に係わる承認時期等については、宗議会・参議会及び両議会宗政調査会において長年議論が行われ、二〇二四年六月の常会の際には両会から発議された「宗会における決算審査及び決算承認の早期化を求める建議」が全会一致で可決されました。それを受け、二〇二三年度決算から、決算審査体制の強化・時期的前倒しが行われています。

両会初日には成立の会議・開会式が行われ、大谷暢裕門首より挨拶がありました(本誌五頁)。その後の本会議では、木越渉宗務総長より挨拶があり(本誌六頁)、「宗務の執行体制は、もはや従前の延長では持続が難しく、行財政の再構築が急務」「行財政改革は、もはや選択肢ではなく必須の課題」と述べました。引き続き長峯顯教財務長より二〇二四年度の決算概況が伝えられました(本誌二十二頁)。

今臨時会は、両会ともに第一決算委員会・第二決算委員会を設置。各委員会での質疑・総括質問及び採決を経て、本会議採決が行われ、当局提案の案件(宗議会・参議会六案件)

はすべて可決されました。
※議決案件は本誌五頁、二〇二四年度決算書は二十四頁に掲載。

宗会日程

宗議会	参議会
1月20日 (午前) 成立の会議 開会式 本会議(宗務総長挨拶・決算概況提案趣旨説明・付託)	1月20日 (午後) 委員会(監査報告 委員会(質疑)
1月21日 委員会(顔合わせ)	1月21日 委員会(質疑)
1月22日 第1決算委員会 (総括質問・採決)	1月22日 第1決算委員会 本会議(採決)
1月23日 第2決算委員会 (総括質問・採決)	1月23日 第2決算委員会 本会議(採決)

参議会

午前	午後
1月23日 成立の会議 開会式 本会議(宗務総長挨拶・決算概況提案趣旨説明・付託)	1月23日 委員会(監査報告 委員会(質疑)
1月24日 委員会(顔合わせ)	1月24日 委員会(質疑)
1月25日 第1決算委員会 (総括質問・採決)	1月25日 第1決算委員会 本会議(採決)
第2決算委員会 (総括質問・採決)	

議決案件 一覧

○は多数により可決。
◎は全会一致、
△は多数により可決。

- 1 ○ 2024年度 真宗大谷派経常部臨時部蔵入蔵出決算書
2 ○ 2024年度 第2種共済特別会計蔵入蔵出決算書
3 ◎ 2024年度 東本願寺出版特別会計蔵入蔵出決算書
4 ◎ 2024年度 東大谷墓地特別会計蔵入蔵出決算書
5 ○ 2024年度 首都圏教化推進特別会計蔵入蔵出決算書
6 ◎ 2024年度 別荘会計諸勘定計算書

第七十九回宗議会・
第七十六回参議会(臨時会)
大谷暢裕門首挨拶



門首挨拶

本日ここに、第七十九回宗議会(第七十六回参議会)(臨時会)が招集され、議員各位には、挙つて参集されましたこと、まことに「苦労様です。はじめに、昨今国内で相次ぐ地震や豪雨などの自然災害、また今なお世界各地で続く紛争により被害を受けた方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く、誰もが安心して暮らすことのできる平穏な日常が取り戻されますことを切に念じ上げます。

さて、今臨時会は、前年度決算という重要な案件について審議されることとなります。議員各位におかれては、公議公論を尽くされ、その本分を全うされるようお願いいたします。

宗議会(二〇二六年一月二十日)
参議会(二〇二六年一月二十三日)

第79回宗議会(臨時会)委員会

2026年1月20日選出(運営委員会)2025年10月15日選出、2026年1月20日一部変更

議長 花園兼有 副議長 坂本敏朗

第1決算委員会(12)

尾畑英和 竹内彰典 能邨勇樹 内藤円亮 大澤秀明

水谷正人 龍 茂樹 金子光洋 中川和子 岩崎 徹 木村 慎

第2決算委員会(8)

内記 淨 東野文恵 篠塚榮祐 北畠顯諒 宮本正顕 佐々木道範

諸岡 敏 森田孝作

運営委員会(8)

菊池 浩 酒井一明 三品正親 西受秀文 井上 裕

菅原 貴(2026年1月20日選出) 浜口和也 且保立子

懲罰委員会(8)

大橋秀暢 下谷泰史 清 史彦 勅使 忍 富田泰成 高橋法信

田澤一明 杉浦明道

第76回参議会(臨時会)委員会

2026年1月23日選出(運営委員会)2025年6月5日選出

議長 加藤晴郎 副議長 黒柳芳因

第1決算委員会(25)

福永莊三 滑川義幸 佐藤多恵子 山田富士雄 高橋賢一

丸山 誠 出水 満 森永壽久 中谷哲夫 林野忠弘 緒方静磨

寺内 実 内ヶ島英一 元木 繁 和泉吉隆 大谷幸毅 福島良一

赤岩 優 杉江勝彦 横井富司夫 中谷幸博 伊藤辰夫 小林 強

澤 辰雄 浅田和雄

第2決算委員会(16)

寺本修一 荒谷正裕 吉原憲孝 七尾利明 松原繁光 野澤一成

瀬戸川恒雄 大見政弘 石坂 務 前田憲男 中島隆敏 熊谷逸男

西尾英一郎 横田義治 石原 孝 古見一秀

運営委員会(8)

山本正弘 大西道誠 久保田幸正 中山恵津子 甲斐 一

五来範行 金巻拾子 澤 善英

懲罰委員会(8)

西川一明 中嶋ひろみ 上田幸一 山瀬一美 佐古光臣 奥戸義成

成瀬妙子 佐藤芳美

教団の動き

企画調整局 第8回「教勢調査」教区報告学習会 開催中

二〇二四年一月に実施した第八回「教勢調査」の教区報告学習会が、東北教区(二〇二五年十二月十日開催)から始まりました。この報告会は、二〇二五年八月に発行された『第八回「教勢調査」報告書』の内容をもとに、教区におけるさらなるデータ活用を期して各教区で開催するものです。

報告会には、報告書の執筆者である伊達平



最初の開催となった東北教区での報告学習会



参加者の質問に答える出向者(金沢教区)

和氏(滋賀大学データサイエンス学部准教授、堀兼大朗氏(同学部講師)、宮部峻氏(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部准教授・親鸞仏教センター嘱託研究員)から一、二名と企画調整局員が出向。全国の教区との比較データや、教区内の組別データ等をもとに、教区における課題と今後の教化推進の可能性について報告が行われています。教区によっては、オンラ

行財政改革推進本部 「1/16」 宗務審議会「真宗本廟崇敬護持のための財源の検討に関する委員会」 答申書提出

一月十六日、宗務所において宗務審議会「真宗本廟崇敬護持のための財源の検討に関する委員会」が開催されました。当委員会では、多様な方々が親鸞聖人の教えに出会い、宗派を支える一人となっていたために必要な具体的施策について、二〇二五年八月五日の委員会設置以降、全五回の審議会にて慎重に審議され、このたび下谷泰史会長より木越宗務総長に答申書が提出されました。

提出された答申書では、宗門が従来の枠組み



内局に答申書が提出された

に留まらず、広く人々を迎え入れていくための方策として、潜在門徒・関係人口等の位置付けやそれらの方々に対する施策展開、具体的施策としての「(仮称)東本願寺納骨」が示された他、関連する事柄として相続講

賞典内規の改正や大谷祖廟納骨志の課題、将来的な納骨事業の展開等が提言されています。

〈訃報〉 参議会議員ご逝去のお知らせ

家田鐵彦氏(いえた てつひこ)参議会議員(名古屋教区選出)第九組教西寺門徒、八十五歳)が二〇二六年一月二十五日に逝去されました。葬儀は同月二十八日に執り行われました。

家田氏は二〇一六年から今期までの四期にわたり参議会議員を務めました。

二〇二六年 宗会(臨時会) 宗務総長挨拶(要旨)

宗議会 二〇二六年一月二十日
参議会 二〇二六年一月二十三日



木越宗務総長

皆様方には、平素より、法義相統・本廟護持、そして同朋会運動推進のために格別のご尽力を賜っておりますこと、ここに厚く御礼を申し上げます。

まずもって、昨年十二月八日の青森県東方沖を震源とする地震や、今月六日に発生した島根県東部を震源とする地震など、国内外で頻発する自然災害に加え、未だ世界各地で繰り返される武力紛争等により被害を受けられたすべての皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。また、令和六年能登半島地震から二年が経過いたしました。依然として復興の道は平坦ではなく、被災寺院・ご門徒の営みも日々の苦勞の中にあります。あらためてお見舞いを申し上げますとともに、引き続き、宗門をあげての支援を継続し、「災害に強い教団づくり」を目指してまいりたいと存じます。

さて、このたびの臨時会は、二〇二四年度の決算審査のために招集させていただきました。すでに先の宗会において、宗議会・参議会双方から「決算審査及び承認の早期化」が全会一致で建議され、それを受けて二〇二三年度決算からは審査体制の強化と時間的前倒しを進めてきたところであります。しかし、決算の早期化は「手続の改善」のみにとどまるものではなく、宗門全体の行財政の構造そのものを問い直すための重要な契機であると受け止

めております。

申すまでもありませんが、ここ数年、人口構造の変化、寺院や門徒の減少に伴う影響、財政基盤の縮小など、宗門を取り巻く状況は急速に変化しており、構造的な課題が顕在化しております。宗務の執行体制は、もはや従前の延長では持続が難しく、行財政の再構築が急務となっております。その意味で、行財政改革は、もはや選択肢ではなく必須の課題であると受け止めております。

昨年の宗会(臨時会)では、この行財政改革を推進する上での姿勢として、第三十三願の「触光柔軟」ということを申し述べました。もう一度申し上げますが、我々には念仏がある。この念仏に絶対の信頼を置き、心を柔らかに保ち、決して握りしめないという姿勢が大切であると思っております。物事や状況は日々変化していきます。日々に、よりよい方途を選び取り、そして共に実行していく、そのような柔軟なる心を持った改革を共に進めてまいりたいと考えております。宗務の執行を預かる内局として、現実から目をそらすことなく、「宗門の持続可能性」を基軸にした行財政改革を、より実効的に進めてまいります。

最後になりますが、あらためまして、本臨時会では二〇二四年度の決算を審査いただきます。議員各位におかれましては、本臨時会にて提案いたしました全案件につきまして、慎重なご審議を賜り、何卒、全会一致をもってご決賜りますようお願い申し上げます。

教 団 の 動 き

真宗大谷派学校連合会 関係学校が真宗本廟参拝・研修を行う

十二月に宗派学校連合会加盟校およびその関係学校による参拝、研修が行われました。実施校は下記のとおりです。

【12月】

- 〈参拝〉
- ◆眞善女子高等学校（大谷高校「京都」姉妹校） 一四三名／十二月三日
 - ◆飯田女子高等学校 保護者会 五十二名／十二月六日
 - ◆北海道大谷室蘭高等学校 女子サッカー部 三十二名／十二月二十六日
 - ◆お煤払い研修
 - ◆京都光華中学高等学校 二十名／十二月二十日



北海道大谷室蘭高等学校
女子サッカー部 (12月26日)

山陽四国教区 「阪神・淡路大震災追弔会」勤まる

【1/17】

一月十七日の午後三時、姫路船場別院本徳寺にて山陽四国教区山陽仏教青年会（以下、仏青）による「阪神・淡路大震災追弔会」が勤まりました。

法会には、同日に推進員連絡協議会が定例で開催する「教区同朋の集い」参加者のご門徒の方々と参拝され、仏青会員と併せて三十名が集いました。法会にあたって日野和雅氏（仏青委員長・山陽四国教区普賢寺）が「阿弥陀如来より願われている、共に生きるいのちの有り様をお念仏の教えに聞き、人の悲しみを憶念し続ける機縁として伝わっていくことを願わずにはおれません」と表白を拝読し、「正信偈」が同朋唱和で勤まりました。

勤行後は、震災への思いを語り合う時間と



「正信偈」同朋唱和



震災について語り合う

体験をもとに「防災訓練などを通じて震災の記憶を途絶えさせることのないよう喚起していかなければならない」と現在の思いを伝えるご門徒もおられました。別の仏青会員は「今日のよう集まって顔を合わせて話し合うことが震災への備えになると思う」と話されました。最後に日野仏青委員長が「この追弔会をきっかけに少しでも震災のことを話し合い、考えていただければ」と挨拶し、閉会となりました。

三十一年目の法会は、ここぞしか聞くことのできない震災の記憶を通して、一人ひとりが震災への思いを巡らせる時間となりました。

（山陽四国教区通信員・青山祐一）

東京教区 「非戦平和を願うつどい」開催

【12/15】

「非戦平和を願うつどい」 「敗戦80年を縁として」開催

「本願に立つのか、軍勢力に立つのか」

十二月十五日、東京都慰霊堂（東京都墨田区）にて、「非戦平和を願うつどい」（主催：東京教区同朋社会推進ネットワーク、共催：東京教区教化委員会青少年部門）が開催されました。寒冷の中、多数参拝のもと法要が勤修され、平川宗信氏（刑法学者・名古屋大学名誉教授）を迎え記念講演が行われました。

初めに星野曉氏（同朋社会推進ネットワークチーフ・東京教区浄安寺）の開会挨拶があり、「戦争を過去の出来事にしないため、東京大空襲で亡くなられた方の御遺骨が納められている慰霊堂で開催するつどいを通して「戦火に巻き込まれ、なぜ多くの方が命を落とさねばならなかったのか。私たちに願われている。平和」とは何か」との教法からの呼びかけと戦争からの問いかけの交差する一点



非戦平和を願う法要が勤まった



平川氏による講演

に身を置き、私自身を見つめ直す場としていきたい」と語られました。

その後の法要では、「仏説阿弥陀経」の読経と「正信偈」が同朋唱和で勤まり、一人ひとりが亡き人を偲びつつ非戦平和を願う機縁となりました。

講演では、初めに平川氏自身の戦争体験談の後、念仏者としてどこに立つのか、なぜ平和問題が真宗の課題なのかという問いが立てられました。そして、日本の軍事国家化、日

米軍事的な一体化が急速に進んでいること、日中戦争の危機について話があり、他人事ではないのだと話されました。

また平川氏は「軍勢力は鬼神である」と言われ、軍勢力に頼るのではなく「非暴力・不服従抵抗」という市民的防衛の有効な手段について語られました。親鸞聖人と山伏弁円の出会いのように、人間同士の違いは対話でしか解決しないという話には多くの方が頷いていました。

最後に田澤廣明氏（青少年部門幹事・東京教区専念寺）より閉会挨拶があり、「亡き人の、声なき声」を聞くことの大切さ」について語られました。

敗戦八十年を縁として亡き人から「あなたは本願に立つのか、軍勢力に立つのか」と今まさに問われているのではないのでしょうか。

（東京教区通信員・酒井大樹）

インを交えて開催されるなど、遠方の僧侶・門徒にも参加しやすい工夫が行われています。質疑応答の時間も設けられ、参加者と共に教区の現状とこれからを、統計データをもとに考える時間となっています。

報告会は二〇二六年六月末までに全十八教区で順次開催される予定です。寺院が直面す

る課題が様々にある中、この報告会を通して、宗門全体でのさらなる統計データの活用を促し、同朋会運動の推進に寄与することが期待されます。

◆2025年9月に行われた「第8回「教勢調査」全体報告学習会」（本誌2025年12月号8頁参照）の様子、真宗大谷派僧侶・門徒を対象にアーカイブ動画を公開しています。下記よりご覧ください。

（※アクセスにはパスワード「Kst2024」の入力が必要です）



教団の動き

■「令和6年能登半島地震」ボランティア支援センターのご案内

能登教務所に設置している「ボランティア支援センター」では、宗派関係者のボランティア活動に対して、宿泊場所の提供・活動経費の助成等の支援を行っています。

被災地域では息の長い支援を必要としています。能登教区でのボランティア活動を希望される方は、ボランティア支援センターにお問い合わせください。

※宿泊・活動助成等の詳細はボランティア支援センターホームページをご覧ください。

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町テ9-1【能登教務所内】

TEL: 070-1860-6010 (専用電話) FAX: 0767-53-0057【能登教務所】

E-mail: nvsc@higashihonganji.or.jp



ボランティア
支援センター
ホームページ

■救援金のお願い

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金の勧募を行っています。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

【救援金口座】 郵便振替口座番号 00920-3-203053

【加入者名】 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。



【令和6年能登半島地震指定救援金総額】

252,481,008円 (2月1日現在)

※宗派救援金口座及び境内救援金箱に寄せられた救援金の総額

〈最新情報はこちら〉

宗派公式
ウェブサイト→



宗派災害情報
公式X→



公益財団法人全日本仏教会では、法律や税金に関する寺院向けの相談窓口を設置しております。ご寺院の運営に、是非ご活用ください。

■寺院のための無料法律相談■

日時：原則毎月第2・4木曜日
13時～(要予約)

場所：明照会館(東京都港区芝公園4-7-4)

TEL: 03-3437-9275

(全日本仏教会 社会・人権部)

■税金なんでも相談室■

お電話にてご相談をお受けしております(要予約)

TEL: 03-3437-9275

(全日本仏教会 財務部)

詳しくは、全日本仏教会ホームページ(https://www.jbf.ne.jp/)をご確認ください。

全日本仏教会

検索



公益財団法人
全日本仏教会
WFB(世界仏教連盟)日本センター

災害救援本部より

わすれな かね 勿忘の鐘-2026-

東日本大震災を心に刻み、犠牲者に思いを馳せ、
今後も復興と支援の思いをつなぐ。



日時：2026年3月11日(水) 午後2時46分

【勿忘の鐘】



本稱寺(岩手県陸前高田市)



名古屋別院

あなたのお寺に鐘はありますか。梵鐘でも喚鐘でもいい。お内仏なら鈴でもいい。3月11日の同じ時刻に、その音に耳を傾けてください。それは鎮魂の音でも慰霊の音でもありません。私たちに霊を慰める力はないから、私たちに魂を鎮める力はないから。ただ鐘の音が消えるまでの僅かなひととき、うつろいゆく時に抗うように憶念の一瞬を共有しましょう。

東北教区では「東日本大震災を心に刻み、犠牲者を悼み、今後も復興と支援の思いを繋げていきたい」という願いのもと、震災後に土中から発見された陸前高田市本稱寺の梵鐘とともに、全国で同時刻(3月11日午後2時46分)に鐘をつき法要を勤める呼び掛けを続けてきました。

今日、気候変動により、過去に経験したことのない大規模災害がいつ身近に起こってもおかしくない現状があります。そして、世界中で毎年のように風水害や大きな地震が発生しています。しかし、私たちはそれらを真に自らの身に起こり得ることとして受け止めているのでしょうか。

あの日から15年…。あらためて呼び掛けの主旨にご賛同いただき、それぞれの今いる場所で勿忘の鐘の衆会をお勤めいただきますようご案内いたします。

東北教区東日本大震災復興本部

東北教区「勿忘の鐘」特設サイトはこちら。

あなたのお寺でも「勿忘の鐘」の衆会をお勤めいたしましょう。

<http://www.touhokukyoku.jp/311/>



※「勿忘の鐘」を開催される寺院を特設サイトにご紹介いたします。

開催されるご寺院は、東北教務所(TEL: 022-297-2824)または上記QRコードよりぜひご連絡ください。

日程 4月2日(木)	
7時	晨朝(同朋唱和) 約40分 御文・法話
9時30分	全戦没者追弔法会 (テープ) 日々の暮らしに紡ぐ念仏者の平和運動 戦争でいのちを奪われた方々を憶念し、兵戈無用(仏説無量寿経)の世界を願う法要です。 「追弔の偈」朗読 大谷あすな氏・猫本冠氏 (帯広大谷高等学校放送局員)
10時	法要(衆) 約1時間
11時20分	記念講演 蓮岡修氏 (京都教区大乘寺衆徒・絵本専門店「きんだあらんど」店主) 【議題】一隅を照らす —小さな種をまくとき—
引続	帰敬式 シンポジウム「じんらん交流館」 帯広大谷高等学校放送局が制作した、非戦平和に関する映像作品を視聴し、蓮岡修氏と大谷あすな氏による対談を行います。 「テーマ」伝える、受け取る、つなぐ —いまを生きる私たちのことは「バネリスト」蓮岡修氏・大谷あすな氏「コーディネーター」梶哲也 教学研究所助手
14時	

日程 4月3日(金)	
7時	晨朝(同朋唱和) 約40分 御文・法話
10時20分	法話 佐賀枝立氏(富山教区) ※手話通訳があります。
11時	相続講員物故者追弔会兼 帰敬式受弔物故者追弔会(衆) 約1時間 亡くなられた方をご縁に、浄土真宗の教えに共に出遇うことを願いとする法要です。
引続	帰敬式
<p>● 帰敬式(おかみそり)</p> <p>【受付】 1日・2日は9時30分まで 3日は10時10分まで</p> <p>【場所】 御影堂 礼金 1万円 (20歳以下は5,000円) (本廟部参拝接待所 075-371-9210)</p>	

春の涉成園と粥膳	
<p>涉成園において、「春の涉成園と粥膳」を開催いたします。</p> <p>粥膳は、真宗本廟におそなえたお仏供(お仏飯)のお下がりを用いて調理しております。</p>	
期間	4月1日(水)～4月3日(金)
時間	1回目11時40分／2回目12時40分 ※開始時間に遅れた場合、お席の確保ができない場合があります。
会場	涉成園(釈尊堂) 関風亭
受付	涉成園入口すぐ 当日9時より
【実加金】	3,000円(当日、受付にてお納めください) ※庭園維持寄付金を含みます。
【内容】	おかゆ・炊き物・小鉢・香の物・菓子
【定員】	各回80名 ※定員になり次第、締め切ります。
【申込締切】	【団体参拝】3月13日(金)まで 【粥膳のみ】希望日の前日16時まで (本廟部参拝接待所 075-371-9210) ※人数変更及びキャンセルはご予約日の前日16時までです。予めご了承ください。



粥膳



※最新情報は宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

※晨朝は阿弥陀堂・御影堂の順に動きます。

※師徳奉讃法要は阿弥陀堂、他は御影堂で動きます。

※法要前にはご挨拶がございますので、参拝の方は5分前には入堂をお願いいたします。

Youtube 「真宗大谷派公式チャンネル」において、春の法要のライブ配信を実施します。ぜひご覧ください。

Youtube 真宗大谷派 公式 検索

日程 4月1日(水)	
7時	晨朝(同朋唱和) 約40分 御文・法話
9時30分	法話 藤場芳子氏(金沢教区)
10時	師徳奉讃法要(衆)「阿弥陀堂」約1時間 親鸞聖人が讃嘆する聖徳太子・七高僧をはじめ、本願念仏の教えを伝えられた師主知識の恩徳を奉讃する法要です。
引続	帰敬式
13時20分	親鸞聖人御誕生会 記念講演 約30分 【講師】 酒井義一氏(東京教区存明寺住職) 【議題】 音を通して親鸞さまの心にふれる 親鸞聖人御誕生会(音楽法要) 約50分 【指揮】 鈴木勇樹氏 (同朋高等学校音楽科主任教諭)
14時	【電子オルガン】 魯あす香氏 (ヤマハ音楽教育システム講師) 【ティンパニ】 高藤摩紀氏 (名古屋音楽大学教授) 【合唱】 真宗大谷派合唱連盟他 宗祖親鸞聖人の御誕生と、教えに遇い得た喜びを、音の荘厳をもって表現する音楽法要です。 御誕生会の紹介動画をぜひご覧ください。



2026年

真宗本廟

春の法要

《期日》4月1日(水)～3日(金)

—本願念仏の教えをいただく御仏事—

4月のはじめに勤まる、聖徳太子・七高僧をはじめ本願念仏のみ教えを伝えられた師主知識の恩徳を讃える「師徳奉讃法要」、親鸞聖人のご生誕をよろこぶ「親鸞聖人御誕生会」、歴史に学び平和の願いを確かめる「全戦没者追弔法会」などの法要を「春の法要」と称しております。

ぜひ皆様お誘い合わせのうえご参拝ください。

2026年 全戦没者追弔法会

テーマ「日々の暮らしに紡ぐ念仏者の平和運動」

戦争でいのちを奪われた方々を憶念し、仏が願われた「兵戈無用」(『仏説無量寿経』)の教えから私たちの今を問ひ直す法要です。

日本が関わったか否かを問わず、人類の起こしてきたあらゆる戦争、今まさに広がる戦火のもとで命をなくされている世界中の方々という意味が、「全」には込められています。また私たちの宗門の過ちを忘れず、あらためて教えの前に立つ思いを「法」に込めて、今年もこの法会を厳修いたします。私たちの日々の暮らしに紡ぐ平和運動とはいかなる実践であるのかをともに考えてまいりましょう。

●「追弔の偈」朗読

大谷あすな氏・猫本 冠氏
(帯広大谷高等学校放送局員)



大谷氏



猫本氏

●記念講演

「一隅を照らす—小さな種をまくとき—」

〔日時〕 4月2日(木) 法要終了後～(11時20分頃～)

〔場所〕 真宗本廟 御影堂

講師 蓮岡 修 氏

1973年島根県生まれ。真宗大谷派僧侶。1999年よりペシャワール会(故中村哲医師代表)入会。アフガニスタンでの水源確保事業に参加。その他、スリランカ・ベトナムでの難民支援・医療支援事業に参加。2008年より子どもの本専門店「きんだあらんど」を継承。2010年より、京都市の子育て支援つどいの広場事業に参画。「どんぐり広場」、「かしの木」代表。絵本カフェ KINDERCAFEオーナー。大谷大学での非常勤講師を経て、現在は認定絵本士養成講座講師を務める。



◆講師の蓮岡氏や高校生のメッセージ、「追弔の偈」練習風景など、法会を紹介する動画を公開しています。右記コードよりぜひご覧ください。



●シンポジウム

テーマ「伝える、受け取る、つなぐ—いまを生きる私たちのことばで」

〔日時〕 4月2日(木) 14時～15時30分 〔場所〕 しんらん交流館 2階大谷ホール

パネリスト：蓮岡 修氏

大谷 あすな氏

コーディネーター：梶 哲也 教学研究所助手

帯広大谷高等学校放送局が制作した非戦平和に関する映像作品『今、この願いを引き継いで』の上映と、映像制作を通じて生徒たちが感じた「非戦・平和」への思いを語っていただくとともに、蓮岡氏と大谷氏によるシンポジウムを通し、世代や立場を超えて「戦争をどのように語り継ぐか」、「平和とは何か」をともに考えます。

●非戦・平和展

〔期間〕 3月27日(金)～4月19日(日) 9時～16時 〔会場〕 参拝接待所ギャラリー 1階

真宗大谷派における戦争協力の罪責の検証と非戦・平和に対する活動を紹介します。

お問い合わせ 解放運動推進本部 (TEL:075-371-9247)

◆名勝 涉成園「おもてなしの舟旅」特別ツアー

東本願寺僧侶の案内のもと、「舟旅」と「呈茶」または「粥膳」を通して、江戸時代の「おもてなし」を体験する少人数制の特別ツアーを渉成園で開催します。

内 容 庭園解説・舟旅体験・非公開茶室にて呈茶または粥膳・庭園の自由散策
(所要時間：約45分+自由散策)

定 員 各回5名(乗船最大定員)

【呈茶付きツアー】

3月28日(土)・29日(日)・4月4日(土)・5日(日)

時 間：10時/11時/13時/14時/15時

参加費：6,000円(庭園維持寄付金込)

【粥膳付きツアー】

4月1日(水)・2日(木)・3日(金)

時 間：10時45分/11時30分/12時15分

13時/13時45分

参加費：8,500円(庭園維持寄付金込)

申込方法 ウェブ予約制

※予約フォームまたは宗派公式ウェブサイトよりご予約ください。

【お問い合わせ】 本廟部参拝接待所 (TEL:075-371-9210)



予約フォーム

◆真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会 企画 刑務所作業製品展示即売会・パネル展

刑務所作業製品の展示即売会と、真宗大谷派の教誨師や篤志面接委員の取り組みを紹介するパネル展を行います。売上げの一部は犯罪被害者支援団体の活動に助成します。

日 時 4月1日(水)～3日(金)
9時～16時(3日は12時まで)

会 場 境内白洲テント



〈おてらおやつクラブ in 東本願寺〉

皆様からの「おそなえ」を預かりし、真宗本廟に「おそなえ」いたします。経済的に困難な状況にあるご家庭や、支援を必要としている子どもたちにお届けし、貧困問題への支援を行います。皆様のご協力をお願いいたします。



*開催期間 2026年3月9日(月)～4月13日(月)

*対象物 お米、お菓子、乾麺、レトルト食品、飲み物等の食品類/洗剤等の生活用品
※食品類は賞味期限が5月18日以降のものをお願いします。

*受付 しんらん交流館 1階ロビー ※3月10日・17日・24日・4月7日は休館

*お問い合わせ 青少年センター (TEL:075-354-3440)

※詳細は右記の二次元コード・「2月末寺院・定期直送便」同梱の「声」(おてらおやつクラブ発行冊子)をご覧ください。



- (2) 駐車ステッカーは、表示内容が確認できるよう、バスの場合は車両の前面（フロントガラス）及び側面（ガラス面）に、乗用車の場合はダッシュボードに必ず貼付ください。ステッカーの掲示がない場合は駐車できません。
- (3) 駐車場では係員が誘導・整理を行います。乗降場所については、係員の指示に従ってください。

3 春の渉成園と粥膳について

「春の法要」期間中、真宗門徒が大切にしてきた「お斎」を、桜咲く渉成園で「粥膳」としてご提供いたします。

真宗本廟におそなえされたお仏供（お仏飯）のお下がりで作られた「菜の花粥」、真宗本廟境内でとれた梅を使った梅干し等がつく本格的なお膳です。渉成園の通常非公開の建物（閨風亭）で、庭園の春の景色を楽しみながら、ぜひお召し上がりください。



粥膳（イメージ）

(1) 期間・時間

4月1日(水)～3日(金)

1回目11時40分～／2回目12時40分～ ※各回80名定員

(2) 会場 渉成園（枳殻邸）閨風亭

(3) 冥加金 3,000円 ※庭園維持寄付金を含みます。（当日、会場受付でお納めください）

(4) 内容 おかゆ・炊き物・小鉢・香の物・菓子

(5) 注意事項

- ①人数変更及びキャンセルはご予約日の前日16時までです。予めご了承ください。
- ②もれなく庭を眺望できるよう、座机にてお召し上がりいただきます。

4 昼食弁当について

期間中に参拝される方々への昼食として、お弁当（1食2,000円、お茶付）をご用意いたします。会場は「しんらん交流館」または「和敬堂」（最大70席）です。

5名からお申し込みいただけます。なお、受け入れ人数に限りがありますので、定員になり次第締め切ります。

(1) 期間 4月1日(水)～3日(金) 11時～13時

(2) 定員 各回70名 ※4月1日は20名

(3) 会場 「しんらん交流館」1階すみれの間（定員20名）または「和敬堂」2階講義室（定員50名）

	1日(水)	2日(木)	3日(金)
しんらん交流館	○	○	○
和敬堂	×	○	○

(4) 料金 2,000円 ※各団体引率責任者から当日現金にてお納めください。

（振込を希望される方は事前にご相談ください。）

(5) 注意事項

※会場は、時間・人数を調整して振り分けますのでご指定いただけません。

※申し込み時に会場をお伝えしますが、都合により、その後に会場を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

本廟部・参拝接待所

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9210 FAX.075-371-9204

2026年「春の法要」参拝のご案内

このたび、4月1日から4月3日にかけて、2026年「春の法要」を、下記のとおり厳修いたします。つきましては、有縁の方々をお誘い合わせの上、ご参拝くださいますようお願い申し上げます。

【申込期間】 2026年2月1日(日)午前9時から3月13日(金)午後5時まで

※受付は各日午前9時から午後5時までです。


※粥膳・お弁当（次頁参照）を申し込み場合、食数に限りがありますのでお早めにご連絡ください。定員になり次第締め切ります。

【申込方法】 下記のいずれかの方法で本廟部参拝接待所へ直接お申し込みください。

【TEL】 申込要項の内容をお伝えください。

【FAX】 宗派ウェブサイトより申込書をダウンロードしてご利用ください。

【WEB】 宗派ウェブサイトの特設フォームでお申し込みください。

お申し込みフォームはこちら➡ 

※参拝のお申し込みをいただきました団体または個人には、春の法要参拝の記念品をご用意いたしますので、公共交通機関でお越しの方や少人数の方、お一人からでもぜひお申し込みください。

※バス・乗用車の駐車をご希望される場合は必ずお申し込みが必要となります。

【参拝申込要項】

1 申し込みに際して

(1) 申し込み時にお知らせいただく必要な事項

- ①参拝日 ②参拝される法要（〔例〕日中） ③到着時刻・出発時刻 ④団体・個人名称
⑤引率責任者氏名・連絡先電話番号 ⑥参拝人数 ⑦粥膳申込の有無 ⑧お弁当申込の有無 ⑨帰散式受式の有無 ⑩渉成園参観の有無 ⑪交通手段（バス・乗用車台数） ⑫大谷祖廟参拝の有無

(2) 申し込み後に、到着・出発時刻、参拝人数、バス・乗用車駐車等に変更が生じた場合は、必ず本廟部参拝接待所にご連絡ください。

(3) 3月中旬を目途に、引率責任者へ案内状・参拝確認書・駐車ステッカー等を送付いたします。※申し込み期間後に変更された内容については参拝確認書に反映されませんので、ご承知おきください。

2 バス・乗用車の駐車について

(1) 団体・個人参拝申し込みをされたバス・乗用車のみ、指定場所に駐車できます。駐車を希望する場合は必ず申し込みをしてください。また、申し込まれた団体・個人には駐車ステッカーを送付します。

本廟部 式務所

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9188 FAX.075-371-9205

春の法要出仕要項

春の法要に出仕を希望される方は、下記要項をご参照の上、別紙出仕願をご提出ください。

1 出仕願について

- (1) 出仕を希望される方は、本誌2月号巻末綴じ込み、もしくは右記よりダウンロードいただいた出仕願を所轄の教務所を経由して本廟部(式務所)に提出してください〔3月1日(日)必着〕。
 なお、願書が不足の場合は最寄りの教務所へお問い合わせください。
- (2) **法臈加算のための出仕証明が必要な方は「有」に○を、必要のない方は「無」に○をしてください。**
- (3) 法臈加算申請のための出仕証明書は、予定されている出仕の最後にご本人に手交いたしますので、必ずお受け取りの上お帰りください。



2 出仕について

- (1) 改着場所 男性：式務所1階南大広間 女性：式務所1階北小間
 ※改着場所にて装束着用後、出仕控室(2階北大広間)で出仕点検を受けてください。
- (2) 制限・集合時刻・装束

	法要名称	法要制限	集合時刻	装束
4月1日	師徳奉讃法要	10時	9時	裳附・五条袈裟・差貫
	親鸞聖人御誕生会 (音楽法要)	14時	13時	
2日	全戦没者追弔法会	10時	9時	
3日	相統講員物故者追弔会兼 帰敬式受式物故者追弔会	11時	10時	

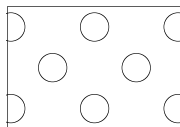
※4月1日から3日までの晨朝への出仕は法臈加算対象にはなりませんが、別紙出仕願に記載ください。

	法要名称	法要制限	集合時刻	装束
4月1日～3日	晨朝	7時	6時	直綴・五条袈裟

3 装束について 出仕の際には、下記制限をご留意いただき、正規のものをご準備ください。

《五条袈裟について》

- ①地合は、堅地、綾地及び平織とする。
- ②色目は、萌黄、紫、その他許可された色(正銀色、長春色など)一色とする。
- ③文様は、無地とする。ただし、金入に限り、平金一色を用いることができる。
- ④紋径は、7種(センチメートル)乃至9種とする。
- ⑤2種類以上の紋を使用することはできない。
- ⑥紋を重ねたり、連続紋とすることはできない。また、いわゆる釜抜、一ツ抜紋、居並びとすることはできない。ただし、褒賞衣体を除く。
- ⑦別に許可せられたものは、小紋とすることができる。この場合、八藤紋に限ることとし、④の制限を除く。
- ⑧寺紋・家紋は、紋白に限る。



釜抜(一ツ抜)

《白服・白足袋等》

- ①白服は、皆白のこと。綸子、唐綸子、縮緬等は着用できない。
- ②白襪子又は白足袋着用のこと。ただし、足袋は小鉤のあるものに限る。
- ③帯は、白帯に限る。

4 法臈加算手続きについて

法臈加算を受けるためには、出仕願(裏面)の要項をご参照の上、別途教務所へ申請ください。

5 その他

- (1) 期間中は、自家用車の境内での駐車はできません。
- (2) ご不明な点は、教務所までお問い合わせください。

5 帰敬式について

- (1) 帰敬式は、1日の師徳奉讃法要後、2日の全戦没者追弔法会記念講演後、御影堂において執行されます。3日の相統講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会後は、御影堂において大谷暢裕門首により執行されます。
- (2) 住職選定法名及び団体による受式については、「帰敬式受式者届」を受式日の1ヵ月前までに直接、本廟部参拝接待所へご提出ください。
- (3) 受式当日、本廟部参拝接待所で、1日・2日は9時30分まで、3日は10時10分までに受付をお済ませください。

6 注意事項

- (1) 各法要の開式時間にご留意ください。
- (2) 参拝時に体調を崩された場合は、お近くのスタッフにお声がけください。
- (3) 法要中の写真や動画の撮影はご遠慮ください。
- (4) 時間に余裕を持った計画を立てられるようお願いいたします。
- (5) ご参拝の際には、ご門徒に肩衣(畳肩衣・略肩衣)を着用いただくよう奨励ください。
- (6) 真宗本廟収骨・永代経・御影堂読経はお取り扱いがありません。
 ※参拝接待所(地下仏間)での読経はお取り扱いがあります。
- (7) 法要期間中、団体参拝等での両堂・諸殿のご案内はできません。
- (8) 法要途中での退席はなさないようお願いします。
- (9) 渉成園にもぜひご参観ください。(4月の参観時間は9時～17時 ※16時30分受付終了)

【お問い合わせ】 本廟部参拝接待所 TEL:075-371-9210(9時～17時) FAX:075-371-9204
 Email: honbyo@higashihonganji.or.jp
 真宗大谷派ウェブサイト <https://www.higashihonganji.or.jp/>

渉成園のご案内

四季折々に美しさを見せる渉成園。
 春の法要の季節には園内に咲きほこる桜をご覧ください。
 春の法要のご参拝とあわせて、渉成園にもぜひご参観ください。



渉成園について、詳しくはこちらをご覧ください→



渉成園Instagram→



2026年宗会(臨時会)

2024年度決算概況(要旨)

宗議会 2026年1月20日
参議会 2026年1月23日

2026年宗議会(参議会)臨時会に提出の決算関係の議案について、2024年度決算概況を申し上げます。

まずは、2024年度宗派経常費御依頼の収納につきまして、ここに改めてご報告いたします。御依頼総額50億2,018万円に対し、54億2,603万1,204万円にして108%の収納をいただきました。全教区からご完納をいただきましたことから、2024年度一般会計経常部歳入の「4款 相統講金」は105.8%、「5款 同朋会員志金」は108.9%の収納率となりました。宗門活動に深いご理解をいただき、格別の御懇念を賜りましたこと、心から御礼申し上げます。

さて、2024年度一般会計については、経常部・臨時部合わせた歳入額は87億8,820万円、予算に対して100.8%の収納率であります。

経常部歳入は、84億4,177万円、収納率は102.3%であります。

2024年度予算において増額編成した主な科目を見えますと、990万円増額編成した「1款1項3目 同朋会館冥加金」は収納率83.5%ありますが、前年度比1,042万円の増収。「1款1項7目 不動産冥加金」は1,425万円増額編成し、収納率120.5%、前年度比5,093万円の増収。渉成園の拝観者にご協力いただく「7款 寄付金」は3,600万円増額編成し、収納率104%、前年度比1,569万円の増収。利息収入及び物品販売の他、文化財施設の活用により「9款 雑収入」は653万円増額編成し、収納率120.2%、前年度比1,743万円の増となりました。

一方で、執行率の低い歳入科目を見えますと、「1款1項2目 研修冥加金」の収納

率は78.2%、「3款1項2目 帰敬式」の収納率は74.9%、「3款2項2目 門徒用授与物」の収納率は81.7%でありました。

次に、経常部歳出は、78億9,478万円であり、予算に対して95.6%の執行率であります。

2024年度において能登半島地震の支援科目として新設した「7款3項4目 能登半島地震災害復興支援費」は、宗務役員派遣及び御正忌報恩講における支援事業並びにボランティア支援センター運営費等として執行率87%、「同項5目 広域災害被災教区特別教化助成」は、能登教区への教化助成として執行率96.4%であります。また、全国からお寄せいただいた救援金は、2024年度は能登教区へ6,951万4,874円を給付し、これまで被災教区へ総額2億7,651万4,874円をお届けいたしました。被災された

方々に思いを馳せ、救援金をお届けくださいましたことに、あらためて心から御礼申し上げます。

また、予算超過した主な科目として、教区指定・組主催の同朋の会推進講座へ助成する「4款2項1目 同朋の会推進講座」は実施数増により執行率119.5%、弁護士費用等を支出する「8款2項2目 法律相談費」は大谷専修学院に関する仮処分及び団体交渉に係る支出により211.6%、時間外勤務手当等を支出する「10款4項1目 諸手当費」は時間外及び通勤手当の増額により106.4%、この増額に伴い「同項2目 社会保険費」は106.5%となり、各項の予算超過分は、第1予備費より振替いたしました。

なお、「7款3項 災害見舞費」の残額621万円は災害見舞準備金へ、「10款5項1目 退職慰労金」の残額9,617万円は退職慰労金給付運用資金へ、それぞれ条例に則り繰入いたしました。

次に、臨時部歳出は、2023年度より着工いたしました重要文化財指定の鐘楼及び手水屋形の修理事業を完了いたしました。

また、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業を完遂するため2023年度から2025年度の3カ年度で実施する「6款 慶讃事業継続費」は、執行率59.6%であります。執行率が低い主な要因は、

教区慶讃法要の助成に関して想定総額の半額である5,000万円を計上した予算に対し、2024年度動修された教区が少なかった点及び宗祖親鸞聖人著作集の続刊の発行が2025年度に変更した点であります。なお、すでに2025年度予算編成で組み直しを行い、2025年度で事業が達成されるよう取り組んでいます。

総じて、2024年度一般会計経常部臨時部決算における歳入歳出差引剰余金は5億5,291万円となり、半分である2億7,645万円をそれぞれ2025年度平衡資金及び2026年度一般会計へ繰入いたします。

次に、第2種共済特別会計については、令和6年能登半島地震の被災寺院・教会へ復興共済金及び共済見舞金の総額49億4,013万円を含み、歳出「1款 共済金」において52億4,226万円の給付を行いました。この支出超過額については、条例に則り復興共済積立金から47億7,908万円の繰入を行っております。なお、復興共済積立金の残高は43億3,320万円であります。

次に、東本願寺出版特別会計については、『真宗聖典 第二版』『真宗大谷派儀式軌範』の頒布やECサイト・お買い物広場での頒布増により、歳入「1款 出版物冥加金」は、収納率84.7%ありますが、前年度比2,

700万円の増収でありました。

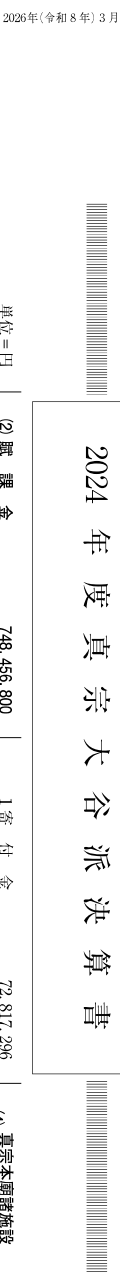
次に、東大谷墓地特別会計については、繰越金を除く歳入小計は収納率102.7%、墓地冥加金・読経志の増収及び万灯会の提灯価格改定による増収により、前年度比356万円の増収でありました。

次に、首都圏教化推進特別会計については、仏事代行及び会館執行法務の減少により歳入「3款1項1目 読経志」は収納率75.9%、歳出「2款1項2目 共同教化推進事業費」は執行率62.0%でありました。また、歳入「1款 一般会計回付受金」は、2024年度決算より歳入歳出差引剰余が生じない必要額のみ一般会計から回付いたしました。

以上、2024年度決算概況といたします。



2024 年 度 真 宗 大 谷 派 決 算 書



単位＝円

2024年度

真宗大谷派経常部臨時部歳計計算書

歳入	8,441,777,678円	経常部
計	346,426,574円	臨時部
歳出	7,894,788,568円	経常部
計	340,500,584円	臨時部
計	8,235,289,152円	
歳入歳出 差引剰余金	552,915,100円	
剰余金処分	276,457,550円	平衡資金 へ繰入
	276,457,550円	2026年度 へ繰入

経常部歳入	(収入額)
(1) 要 加 金	352,324,156
1 冥 加 金	352,324,156
1 学修冥加金	18,755,000
2 研修冥加金	50,753,900
3 同朋会会館共加金	54,057,750
4 渉成園冥加金	10,372,500
5 大谷専修学院冥加金	45,764,900
6 斎 冥 加 金	32,501,500
7 不動産冥加金	140,118,606

4 得 度 式 費	10,142,005
5 帰 敬 式 費	22,618,857
3 儀式指導研究所費	2,271,264
1 儀式指導研究所費	2,271,264
4 参拝接待費	40,324,418
1 参拝接待費	34,361,368
2 参拝記念品費	5,963,050
5 諸 費	42,938,580
1 参 拝 諸 費	2,687,543
2 式 務 諸 費	24,724,677
3 租 綱 諸 費	15,526,360
(2) 学事伝道費	295,141,476
1 学 事 費	20,186,267
1 安 居 費	4,030,446
2 学階控衛会費	350,080
3 教師養成費	5,458,324
4 教師資格取得準備学研会費	1,030,033
5 学会助成費	1,808,384
6 東方仏教徒協会助成費	7,500,000
2 大谷専修学院費	37,849,090
1 大谷専修学院学務費	8,194,836
2 学寮生活費	20,790,513
3 大谷専修学院運営費	8,863,741
3 親鸞仏教センター費	16,552,003
1 研究交流費	9,072,136
2 事務所費	2,183,926
3 施設管理費	5,295,941
4 関係学校助成費	24,380,352
1 関係学校助成費	24,380,352
5 学事施設助成費	15,620,000
1 学事施設助成費	11,000,000

(2) 賦 課 金	748,456,800
1 宗務賦課金	667,489,800
1 寺院賦課金	385,330,800
2 僧侶賦課金	282,159,000
2 共済賦課金	80,967,000
1 共済賦課金	80,967,000
(3) 礼 金	502,967,700
1 願事礼金	199,300,000
1 諸 願 事	146,815,000
2 船 散 式	52,485,000
2 授与礼金	303,667,700
1 寺院用授与物	20,847,000
2 門徒用授与物	282,820,700
(4) 租 綱 諸 金	5,013,533,935
1 租 綱 諸 金	5,013,533,935
1 租 綱 諸 金	5,013,533,935
(5) 同朋会員志金	304,936,587
1 同朋会員志金	304,936,587
1 同朋会員志金	304,936,587
(6) 懇 志 金	895,207,399
1 懇 志 金	895,207,399
1 読 經 志	181,066,000
2 納 骨 志	513,180,000
3 諸 懇 志	200,961,399
(7) 寄 付 金	72,817,296
1 寄 付 金	72,817,296

2 助 成 費	4,620,000
6 伝 道 費	23,945,826
1 真宗本願伝道費	20,091,241
2 大谷租綱伝道費	3,854,585
7 社会教化費	8,107,938
1 教誨事業費	4,568,034
2 社会教化事業費	2,147,990
3 施設教化費	1,361,914
4 仏教行事費	30,000
8 真宗大谷学園回付金	148,500,000
1 真宗大谷学園回付金	148,500,000
(3) 真宗教化センター費	78,314,138
1 真宗教化センター費	78,314,138
1 研究調査費	8,779,038
2 教化伝道研修費	2,527,819
3 定期刊行物刊行費	622,652
4 諸 費	5,506,427
2 解放運動推進本部費	122,140
1 差別問題研修費	15,618,906
2 研究調査費	6,515,100
3 女性室費	3,203,286
4 公 議 費	2,278,348
5 関係団体費	120,000
3 青少年センター費	3,502,172
1 青少年センター活動費	29,278,889
2 情報収集・広報費	14,284,447
3 会 議 費	155,470
4 大谷スカット連合協議会費	1,007,273
4 事 業 費	4,282,001

(8) 回 付 受 金	72,817,296
1 回 付 受 金	20,000,000
1 真宗本願寺出版特別会計受金	20,000,000
(9) 雑 収 入	72,068,244
1 雑 収 入	72,068,244
(10) 繰 越 金	459,465,561
1 繰 越 金	459,465,561
合 計	8,441,777,678

臨時部歳入	(収入額)
(1) 間如上入法要御香儀	19,156,990
1 間如上入法要御香儀	19,156,990
(2) 宗務改革推進資金受金	61,147,635
1 宗務改革推進資金受金	61,147,635
(3) 東日本大震災復興支援資金受金	3,768,737
1 東日本大震災復興支援資金受金	3,768,737
1 復興支援資金受金	3,768,737

5 助 成 費	800,000
6 大谷派児童教化連盟費	6,580,480
7 真宗大谷派合唱連盟費	2,159,218
4 教化機構振興費	14,243,959
1 統計調査費	10,364,580
2 ネットワーク形成費	2,326,808
3 同朋会運動推進会議費	1,552,571
5 教化伝道費	5,920,901
1 しんらん交流館	5,920,901
1 しんらん交流館	5,920,901
6 運営管理費	4,472,445
1 しんらん交流館	4,472,445
1 運営管理費	4,472,445
(4) 研 修 費	181,042,888
1 中央研修費	49,903,383
2 教師研修費	29,877,371
2 仕職講習費	7,208,640
3 春休研修費	1,788,631
4 青少年研修費	4,306,204
5 各種研修費	4,849,007
6 声明講習費	1,873,530
2 同朋の会推進講座費	21,756,126
1 同朋の会推進講座・稲敷式法座費	20,850,000
2 推進員室費	906,126
3 真宗本願寺仕施設費	109,383,379
1 和敬堂運営管理費	8,130,501
2 同朋会館運営管理費	4,245,109
3 研修道場運営管理費	1,329,284

(5) 同朋会館教導・嘱託指導費	37,171,833
5 本仕施設運営費	7,600,919
6 食堂運営管理費	47,706,713
7 諸 費	3,199,020
(6) 組織振興費	235,935,916
1 組織振興費	89,298,456
1 同朋新聞費	65,365,557
2 教化冊子費	14,049,200
3 同朋会促進費	2,506,739
4 坊守会連盟助成費	700,000
5 公益社団法人大谷界前協会	6,676,960
2 教化振興助成費	81,915,000
1 地方教化助成費	81,720,000
2 連区協議会費	195,000
3 地方振興助成費	34,228,806
1 租綱奨励助成費	30,308,806
2 奨励巡回費	3,920,000
4 還 付 金	30,493,654
1 同朋会員志金還付金	30,493,654
(6) 開 教 費	262,004,369
1 首都圏教化費	143,424,292
1 首都圏教化推進特別会計回付金	143,424,292
2 海外開教費	107,114,093
1 開教司教費	8,990,820
2 監督部費	77,459,471
3 定成派道費	14,094,594
4 伝道助成費	2,550,497
5 国 際 室 費	4,018,711
3 準開教区開教費	11,466,004

1 沖繩開教費	11,466,004	1 広報費	9,019,978	2 O.A.整備費	111,340,391	4 研修部補導給与	29,672,780
(7) 共済福祉費	274,107,473	2 インターネット広報費	5,738,590	3 通信運送費	165,703,675	5 解放運動推進本部	
1 第1種共済制度運用費	118,163,719	3 真宗誌費	38,776,417	4 租税費	50,201,110	5 専門職員給与	28,218,575
1 共済金	118,140,000	4 宗派間交渉費	15,652,273	5 機務費	4,054,947	6 観覧仏教センター	
2 事務費	23,719	5 渉外費	262,853	6 備品費	15,982,010	6 研究職員給与	35,085,100
2 福祉費	8,346,754	4 諸会議費	7,288,303	7 接待費	8,087,517	7 教学研究所研究職1給与	63,454,170
1 住職30年記念費	4,053,124	1 教務所長会費	800,000	8 賄費	3,669,205	8 専門職員給与	11,628,585
2 寺院慶弔費	4,293,630	2 輪番会費	1,646,429	9 清掃衛生費	38,954,434	9 指導主任1給与	7,452,160
3 総合相談室費	0	3 教区門徒会長会費	2,483,000	10 聖教編纂室給与	15,855,020	10 教区青少年教化	
3 災害見舞費	52,710,000	4 教区門徒会長会費	1,914,800	11 11月 動車費	3,733,966	11 教区駐在牧師給与	192,606,203
1 門徒見舞費	5,235,417	5 法衣制定審査会費	0	12 役員法衣被服調製費	2,898,959	12 事業嘱託給与	4,034,785
2 災害対策費	1,023,938	6 宗務顧問会費	444,074	13 奨励 諸費	11,600,060	13 専門嘱託給与	29,901,785
3 救護物資準備費	613,800	5 財産管理費	4,819,433	12 涉成園事務費	16,545,579	3 宗務役員現業職給与	97,061,410
4 復讐 半島地震災害	26,119,552	1 財産管理費	3,115,429	2 涉成園広報費	16,343,746	1 現業職給与	97,061,410
4 復興 支援費		2 財産管理準備会費	1,704,004		201,833	4 諸手当費	677,274,785
5 特別教化助成		1 宗室宗史顕彰管理費	417,962	(9) 地方宗務費	1,000,958,165	1 諸手当費	207,077,047
災害見舞準備金繰入金	6,217,293	1 宗室宗史顕彰存会費	387,962	1 教区交付金	870,604,578	2 社会保険費	470,197,738
災害見舞特別会計	91,887,000	2 宗室宗史顕彰存会費	30,000	1 教化交付金	768,180,558	5 退職慰勞金	300,000,000
第2種共済特別会計		1 防災費	135,744,820	2 奨助交付金	102,424,020	1 退職慰勞金	203,828,700
1 回 付 金	13,920,000	8 管 轄 費	305,926,063	1 養務金諸費	15,353,587	退職慰勞金給付運用資金	96,171,300
2 共済賦課金回付金	80,967,000	1 管 轄 費	135,926,063	3 教務所費	115,000,000	6 諸 費	161,351,744
(8) 宗務所費	1,458,539,508	皇宗本部諸施設	170,000,000	1 教 務 所 費	115,000,000	1 宗務役員任用費	427,914
1 門首室費	82,774,294	2 管 轄 積立金	243,913,431	(10) 宗務執行機関人材費	3,713,286,572	2 宗務役員養成費	2,096,010
1 門首費	46,036,600	9 調 進 費	243,913,431	1 宗務役員事務職給与	1,827,889,362	3 宗務役員教養福祉費	158,827,820
2 門首修習費	1,662,694	1 授与 物 費	132,183,531	1 事務職給与	1,827,889,362	1 宗 議 会 費	114,718,080
3 鍵 役 費	30,994,800	2 賞 典 費	111,729,900	2 専門職員給与	619,709,271	1 宗 議 会 費	62,084,375
4 内事関係費	4,080,200	10 旅 費	49,531,185	1 式務員給与	163,858,318	2 参与 会 費	61,842,875
2 宗制調査費	29,787,745	1 旅 費	49,531,185	大谷専修学院	64,264,225	2 参 議 会 費	241,500
1 宗制調査費	9,259,485	11 諸 費	512,340,582	2 教行職11給与		1 参 議 会 費	49,141,770
2 法律相談費	20,528,260	1 選 挙 費	137,440	3 教育部学校教育庁事務給与	3,678,350		48,691,050
3 広報渉外費	69,450,111						

2 常務会費	450,720	臨時部歳出	(支出額)	1 教区寺院活性化支援室	34,370,000	復興共済積立金繰入	4,779,080,000
3 宗会理事会費	325,400	(款項目)		1 活 動 費 助 成		合 計	4,779,080,000
1 宗会理事会費	325,400	(1) 大谷大学特別助成	5,000,000	(8) 大谷相續総合整備事業	10,000,000		
4 事務局費	3,166,545	1 大谷大学特別助成	5,000,000	大谷相續総合整備事業	10,000,000		
1 事務局費	3,166,545	1 大谷大学特別助成	5,000,000	1 準備積立金繰入金	10,000,000		
(12) 董理院費	749,190	(2) 宗務改革推進費	61,147,635	大谷相續総合整備事業	10,000,000		
1 董理院費	749,190	1 宗務改革推進費	61,147,635	1 準備積立金繰入金	10,000,000		
1 董理院費	749,190	1 門徒伝道推進費	4,347,540	合 計	340,500,584		
(13) 審問院費	14,831,179	2 教区及び支部の	8,477,446				
1 給 与	12,180,000	2 改編委員会費	6,322,649				
2 審問室費	904,942	3 行財政改革推進費	42,000,000				
1 審問室費	904,942	4 教区改編特別給付金	42,000,000				
3 監察室費	1,136,353	(3) 東日本大震災復興支援費	3,788,737				
1 監察調査費	1,011,353	1 東日本大震災復興支援費	3,788,737				
2 査察委員費	125,000	1 東日本大震災復興支援費	3,788,737				
4 諸 費	709,884	1 真宗本願大規模管轄費	105,554,480				
1 諸 費	709,884	1 真宗本願大規模管轄費	105,554,480				
(14) 会計監査院費	27,877,540	(5) 涉成園保存整備事業	42,011,916				
1 給 与	25,777,660	1 涉成園保存整備事業	42,011,916				
1 給 与	25,777,660	(6) 慶讃事業継続費	59,530,154				
2 監査運営費	2,099,880	1 慶讃事業継続費	59,530,154				
1 監査運営費	2,099,880	1 慶讃事業継続費	59,530,154				
(15) 予 備 費	2,860,850	(7) 寺院活性化支援事業費	53,467,662				
1 第1予備費		1 真宗教化センター	19,097,662				
2 第2予備費	2,860,850	1 支援室活動費	6,850,018				
1 第2予備費	2,860,850	1 寺院活性化支援事業費	6,631,935				
合 計	7,894,788,568	2 寺院活性化支援費	5,615,709				
		2 教区寺院活性化支援室	34,370,000				
		2 活動費助成					

復興共済積立金繰入	4,779,080,000	復興共済積立金繰入	4,779,080,000
合 計	4,779,080,000	合 計	4,779,080,000
歳 出		歳 出	
(款項目)	(支出額)	(款項目)	(支出額)
(1) 共 済 金	5,242,260,000	1 共 済 金	5,242,260,000
1 共 済 金	5,242,260,000	1 復興共済金	5,223,970,000
1 復興共済金	5,223,970,000	2 宗派共済見舞金	8,290,000
2 宗派共済見舞金	14,655,109	1 事務費	14,655,109
1 事務費	14,655,109	1 会議費	0
1 会議費	0	2 調査費	10,535,098
3 第2種共済システム整備費	362,296	4 諸 費	3,757,715
(3) 予 備 費	3,757,715	1 予 備 費	0
1 予 備 費	0	合 計	5,256,915,109
合 計	5,256,915,109		
2024年度		2024年度	
東本願寺出版特別会計歳計計算書		東本願寺出版特別会計歳計計算書	
歳入	422,199,086円	歳入	422,199,086円
歳出	364,970,548円	歳出	364,970,548円
歳入歳出差引剰余金	57,228,538円	歳入歳出差引剰余金	57,228,538円
出版特別会計運営資金へ繰入		出版特別会計運営資金へ繰入	
歳入	(収入額)	歳入	(収入額)
(款項目)		(款項目)	
(1) 出版物更追加	354,761,396	(1) 出版物更追加	354,761,396
1 出版物更追加	354,761,396	1 出版物更追加	354,761,396

(3) 墓地管理費	27,677,661
1 営繕費	2,553,815
2 管理費	2,553,815
1 墓地清掃費	25,123,846
2 防災費	9,055,300
3 調査費	10,547,890
(4) 給与	5,520,656
1 給与	23,468,166
1 給与	23,468,166
2 諸手当費	18,656,765
3 社会保険費	1,691,916
(5) 墓地整備費	3,119,485
1 墓地整備費	22,632,813
1 墓地整備費	22,632,813
(6) 墓地整備準備金	22,632,813
1 墓への繰入金	5,300,000
墓地整備準備金	5,300,000
1 墓への繰入金	5,300,000
(7) 予備費	0
1 予備費	0
1 予備費	0
合計	111,976,809

[illegible][illegible]

3 教育材料費	135,035,908	歳入 歳出 差引剰余金	21,580,380円	1 法 務 費	13,839,353
4 視聴電教材料費	1,512,370	剰余金処分	10,790,190円	2 万 灯 会 費	835,586
2 会 議 費	832,528	剰余金繰分	10,790,190円	2 事務 所 費	13,003,767
1 会 議 費	832,528	繰入金	繰入金	1 事 務 費	19,058,816
(2) 旗布獎勵費	39,032,248	2026年度	10,790,190円	1 備 品 費	10,328,681
1 旗布獎勵費	39,032,248	繰入金	繰入金	2 運 営 費	90,064
1 旗布諸費	18,956,391	歳 入		3 租 税 費	7,278,062
2 宣 伝 費	20,075,857	(款項目)	(収入額)	4 諸 費	1,616,184
(3) 給 与	81,606,018	(1) 墓地買入金	78,357,000		1,344,371
1 給 与	81,606,018	1 墓地買入金	78,357,000	2 供物調達費	8,730,135
1 給 与	68,848,272	1 墓地買入金	78,357,000	1 供物調達費	8,730,135

出 入		合 計	
(款項目)	(支出額)	合 計	364,970,548
1 刊 行 費	164,137,158		
1 刊 行 費	163,304,630		
1 同朋刊行費	21,599,167		
2 安居講談刊行費	2,154,185		
3 教材刊行費	135,038,908		
4 視聽文教刊行費	1,512,370		
2 会 議 費	832,528		
1 会 議 費	832,528		
(2) 頒布奨助費	39,032,248		
1 頒布奨助費	39,032,248		
1 頒布諸費	18,956,391		
2 宣 伝 費	20,075,857		
(3) 給 与	81,606,018		
1 給 与	81,606,018		
1 給 与	68,848,272		

東大谷墓地特別会計歳計計算書		歳 出	
(款項目)	(支出額)	合 計	133,557,189
1 法 務 費	13,839,353		
1 法 務 費	13,839,353		
1 法 務 費	835,586		
2 万 灯 会 費	13,003,767		
(2) 事 務 所 費	19,058,816		
1 事 務 費	10,328,681		
1 備 品 費	90,064		
2 運 営 費	7,278,062		
3 租 税 費	1,616,184		
4 諸 費	1,344,371		
2 供物調達費	8,730,135		
1 供物調達費	8,730,135		

身元調査は、しない！させない！ゆるさない！

「身元調査お断り・過去帳閲覧禁止運動」の再確認を！

解放運動推進本部

「身元調査お断り」プレート

身元調査は、しない！させない！ゆるさない！

身元調査お断り

真宗 大谷 派

(写真1)

一九八四年、同和推進本部（当時）から、各教務所を通じて「身元調査お断り」プレート（同和問題）にとりくむ宗教教団連帯会議製作）をお届けし、寺院・教会の門前や玄関など、良く目につく場所への掲示をお願いしました。二〇一三年七月には、宗派が新たに「身元調査お断り」プレート（写真1）を製作し、全寺院・教会に配付しました。

また、一九八八年、それまで過去帳閲覧禁止の帯封をお届けしていたものをステッカー（写真2）に替え、過去帳への貼付をお願いしました。

寺院・教会の門前や玄関に「身元調査お断り」プレートが掲示されているか、また過去帳等に「閲覧禁止」ステッカーが貼付されているかを、あらためてご確認ください。

過去帳を利用した身元調査

当派が身元調査お断り・過去帳閲覧禁止運動に取

り進むようになったのは、難波別院輪番差別事件を契機とした部落解放同盟による一九七一年六月の第六回糾弾会において、宗派内三寺院が興信所に過去帳を閲覧させたという指摘が機縁です。同年十二月の第八回糾弾会では、さらに各寺院・教会における過去帳の取り扱いについて、厳しく問われました。一九六八年に戸籍が全面閲覧禁止になってから、興信所や探偵社による問い合わせという手段で、過去帳が身元調査に利用され、結婚差別や就職差別に関わる深刻な問題を引き起こしてきました。被差別部落の若い人々の前途が無残に断たれたり、時には、尊い人命が奪われるという事件が起きています。

聞き合わせと家系図調べ

身元調査は、興信所や探偵社によらず、相手方の関係する人や団体に対して、個人によって直接行われることがあります。

「聞き合わせ」と称されるこの調査は、寺院や教会に対して行われることが多いのです。例えば、結婚相手の手次ぎの寺院へ、相手の家柄や素行等を確かめるというものですが。しかし、ともすれば聞く方にも寺院側にも、身元調査を行っている意識は少なく、気づかないまま人権を侵害することになりかねません。「聞き合わせ」は身元調査であり、寺院・教会として、はっきりとお断りするようお願いしま

す。また、最近では、住職が過去帳を他人に開示して家系図調べを行ったり、その行為における問題性への指摘に対し、部落差別問題への取り組みを阻害し、誹謗する発言が生じています。

聞き合わせも家系図調べも、家柄や家格などの門地（出生によって生じる社会的地位）や、世系（祖先から受け継いだ系統・血統）の優劣をつけることに結び付くこととなり、結果として被差別部落を排除・差別する身元調査にほかならないのです。

過去帳の意義

過去帳は、有縁の人が亡き人をご縁に如來のみ教えに値遇されるため、寺院・教会に所屬するご門徒の仏弟子たる名の方が記された法名帳です。したがって、過去帳に記載される事項は、それ自体が、門徒・寺院・教会・宗派にとって大切な情報であり、宗教的意義以外の目的に決して利用されてはなりません。そして、過去帳には、法名・住所・俗名・帰敬式受式年月日・死亡年月日の内容以外に記載すべきではありません。過去帳にいかなる差別もあつてはならず、差別記載を許さない過去帳を今後も作つていかなければなりません。

過去帳の閲覧を求められる場合

過去帳に記載されている内容は、ご門徒の個人情報であり、その漏えいは人権侵害となります。過去帳を直接開示せず、口頭で応えることも、相手に過去帳を閲覧させていることと同じです。しかし、各寺院・教会に所屬するご門徒が、自らの祖先を確認する場合は、住職・教会主管者が確認して、該当する内容のみを口頭で応えていただくようお願いいたします。さらには、各寺院・教会に対し、過去帳に記載の判別し難い文字の解説や、記載情報の整理・データ化を謳う業者によって、過去帳を整備するという営業が行われているとの事例が報告されています。過去帳そのものを外部の業者に委託することも、過去帳を第三者に開示・閲覧させる行為にあたります。住職・教会主管者は、その責任において過去帳を整備・保管することは当然のことですが、第三者に開示・閲覧させることは、住職・教会主管者個人の判断によるものではなく、宗務総長の許可が必要となります。

過去帳が名簿やリストに

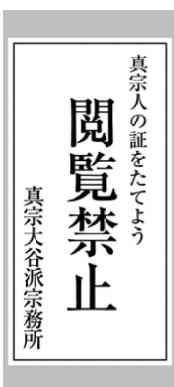
近年、全く知らない会社（個人）からダイレクトメールや電話で、商品購入の勧誘があることを耳にしますが、さまざまな名簿やリストが当人の知らないところで売買されている現状があります。過去帳や門徒名簿に記載される内容は、宗派以外の者にとっても利用する価値のある情報と考えられます。現実には、過去の過去帳閲覧の事例から考えて、歴史、行政（税務調査等）、個人や集団の特定、営利（営業利用等）、身元調査等さまざまな利用される可能性があります。

身元調査でなければ良いのか

身元調査に利用されさせなければ、第三者に過去帳を見せてもいいのではないかととらえてしましますが、いずれの目的にも過去帳等の情報が利用されてはなりません。当然、差別記載が一切なくとも、また被差別部落のご門徒と関わりのない寺院・教会の過去帳等であっても同じことです。

いかなる理由であれ、過去帳及び門徒名簿が安易に閲覧される状況は、ご門徒のプライバシーが顧みられていないこととなります。さまざまな事情により故郷を隠している人々にとっては、自分の身元が漏れる不安に常にさらされていることなのです。過去帳や門徒名簿の閲覧禁止は、厳重になされなければならず、データで管理されている場合においても、情報の漏えいにはくれぐれもご注意ください。

「閲覧禁止」ステッカー



(写真2)

税務調査

宗教法人法第八十四条には、国及び地方公共団体の機関が、宗教法人の調査をする場合、「信教の自由を妨げることがないように特に留意しなければならない」とあります。また、宗教者が職務上知りえた個人情報等を漏らすことは守秘義務違反を問われ、

刑法（三四条二項（秘密漏示罪）のもとで処罰の対象となります。

税務調査の際に、寺院・教会の収入等を裏付ける資料として、税務署員が自身の「職務上の守秘義務」を理由に、過去帳の閲覧を求める場合がありますが、宗教的意義を持つ過去帳を税務調査等に利用することは許されません。税務調査には収支計算書等の会計に関する備付帳簿を整備して応えるべきです。

身元調査お断り・過去帳閲覧禁止の徹底を

二〇〇五年、真宗大谷派同和関係寺院協議会が実施しました「真宗大谷派における部落差別問題実態調査」では、「身元調査お断り」プレートを掲示している寺院は三十九・二パーセント、過去帳等に「閲覧禁止」の帯封またはステッカーを貼付している寺院は四十二・六パーセントにとどまり、当派における身元調査お断り・過去帳閲覧禁止運動の取り組みが十分でないことを示しています。

この調査結果を踏まえ、本運動の取り組みをさらに進める必要があります。運動の趣旨をお汲み取りいただき、あらためて身元調査お断り・過去帳閲覧禁止の徹底をお願いします。

「お問い合わせ先 解放運動推進本部

TEL・075337119247
FAX・075137116171

※秘密漏示罪：宗教、祈祷若しくは祭祀の職にある者又はこれらの職にあつた者が、正当な理由がないのに、その業務上取り扱ったことについて知り得た人の秘密を漏らしたときは6か月以下の懲役又は10万円以下の罰金に処する

児童教化のページ

シリーズ 真宗大谷派における児童教化
—子どもたちとともに、今までそしてこれからも—

ち か い

- 一、私たちは、仏の子どもになります。
- 一、私たちは、正しいおしえをききます。
- 一、私たちは、みんな仲よくいたします。

大谷派児童教化連盟

598

2025年8月1日から4日にかけて、「第35回同朋ジュニア大会（テーマ：『正義×正義』）」が開催されました。前回に引き続き、講師の梶原敬一氏のおはなし（要旨）を掲載します。

第35回同朋ジュニア大会 おはなし③

山陽四国教区第7組光明寺・梶原敬一
姫路第一病院小児科部長

あんまりしんどいことが続くと泣くのを忘れてしまいます。でも、話をして自分がこれまで生きてきて苦しかったのだということを知ると、涙が出て泣き始めます。このように「泣く」ということができるのは、私たちが自分というものとは違う「いのち」を生きているからです。泣くのはそうやって自分の「いのち」と話し始めたということだから、大切なことです。だから泣き始めると、みんなすごく気持ちが楽になります。だから、しんどい時は泣けばいいのだけど、泣かないで我慢していると泣けなくなるのです。

赤ちゃんは、初めて笑うようになると誰もが、につこりと幸せそうに笑います。不思議ですね、それからしばらくすると楽しくて泣きます。でも、笑うことも大人になっていくと忘れてしまいます。赤ちゃんのようになんか笑いをしている人は、ほとんどいません。

泣きます。子どもの時にそういう大人に出会うことは大切です。そして自分が大人になった時に、そういうことを忘れないことが大切です。

みんなに思い出してほしいのです。本当に幸せだと思って笑った時、そして、悲しくて泣いた時はいつだったのかと。悔し涙ではありません。僕は自分が診ていた病気の子どもが亡くなった時に、涙が出て止まらなかったことがあります。どこにこんなに涙があつたんだろうと思ったことがあります。自分の中から出てくるといっても、自分が悲しいと思つて泣くんじやないのです。涙が自分の底から湧いてくるのです。

同じようにひとりでは笑っている時があります。おかしくて笑うような笑い方ではありません。その人の笑顔を見たら周りの人も楽しくなるのです。赤ちゃんが笑うと周りの人みんなが笑います。赤ちゃんの笑顔を見ると、なんだか嬉しくなつて幸せを感じるからです。みんなも赤ちゃんだった時、そんな笑いをしていたのです。決して赤ん坊だけの特権ではありません。大人になってその

笑いを忘れてしまうと、争いごとが多くなって、生きることがお金を稼ぐことになってしまいます。

人間が本来の人間のまま生きられるのは、みんなが泣いたり笑ったりすることが自然にできる社会だからです。戦争で人を殺すことができるようになるのは、泣くことも笑うこともできなくなるからです。人間としては、生きていけないのです。戦争している時に敵が来たからといって怖いよって泣いていたら殺されてしまいます。笑うこともできなくなります。

五十年前に手塚治虫という方が描かれた『鉄腕アトム』という漫画があります。一人の子供が亡くなり、その子どもの代わりに作られたロボットがアトムという名前前で育てられていきます。アトムは人間の子どもと一緒に学校に行くのだけど、どう頑張っても人間とは違っています。勉強も運動も人間よりよくできて、すごく優秀だけど人間にはなれないのです。それで、アトムのことをしっかり見てくれる博士に、「僕に人間の心を与えてください」とお願いして、その心を与えてもら

いました。それまでみんなが綺麗な音楽だと思つても、音が並んでいるけど音楽として美しいかはわからなかったのです。それをわかるようになったと言つて、人間の心をもたうのです。でも、その時に大変なことが起こります。それまで戦つても怖い気持ちは起こらなかったアトムが、人間の心をもつた途端に怖い気持ちが生まれて、それまで戦つていた悪いロボットと怖くて戦えなくなるのです。そこで、もう一回、その人間の心を与えてもらうと、また元のアトムに戻つてしまうというお話があります。

人間の心を持つことで怖がる気持ちが生まれてくると戦えなくなるのです。だから戦争の時には、その怖がる気持ちをなくさないといけません。でも、その気持ちをなくすことは、人間であることをなくすのです。軍隊さんたちはそうして訓練されて、人を殺せるように変えられていきます。

アトムは、今の私たちそのものの姿だと思えます。でも、人間に戻つて弱い心が出てきても、美しいものが美しいとわかり、怖いことは怖い

と言えるようになったら、世の中は変わります。アトムはずっと戦つてばかりです。すごく力強く賢いから悪いロボットたちをやっつけるんだけど、そういう形でアトムがずっと戦い続けるのがアトムの幸せではなかったのです。戦わなくてもよい世界ができなければならぬ。そのためにアトムは頑張っているつもりなのに、ずっと戦わなければならぬのです。今の世の中の人間と一緒にアトムは、ロボットであることとは一体何なのか。人間と何がどのように違うのか。人間になりたいけど人間になれない自分はどう生きたらいいのかと悩みます。アトムの苦しみというのは、みんなが今持っている苦しみと一緒に生きていると思えます。

それでアトムは人間の心を作つてもらつたけど、その心を人間は作つてもらわなくても最初から持っています。その心はどんなに壊そうとしても壊すことはできません。怖い気持ちになるのは、人間の持つている大事な気持ちです。そういう怖い気持ちを忘れないでください。そうし

て綺麗なものを綺麗なものとして感じる心を持ち続けることができれば、本来の人間に戻るができます。

でも、そのためには、自分というものをもう一回見つめ直して、自分の「いのち」に出会わなければなりません。その「いのち」によって、自分が生きていることを信じることでできたら、みんな生きることが恐くなくなります。苦しいとか辛いというのではなくなるんです。自分がここまで生きてきたことを、なにか大切なものとして大事にできるようにになります。そして、自分がこれまで出会ってきたいろいろなことも、そのことによって自分が生きてきたのだと受け止めることができるようになります。そして、これから出会うことが辛いのではなくて、大切な仕事に変わります。これが希望です。何かいいことがあるのが希望ではありません。これから起こってくることに対して、それを引き受けて人生の仕事にできるのが希望です。そうすると、どんな時にあつても希望は生まれてきます。

その希望によって未来を切り開いていってください。

今月のお寺

233

常照寺

(岐阜高山教区第十六組)
岐阜県可児市兼山五八〇番地
住職 森林 晃祥

活動の終わりと繋がる思い

常照寺のある岐阜県可児市兼山は、織田信長の近習として知られる森蘭丸ゆかりの地です。常照寺は森家の家老であった林長兵衛為忠によって建立されました。



常照寺山門

開山は妙向尼(金山城主森可成の妻であり、蘭丸の母)の末子暮久と言われています。妙向尼は、真宗に深く帰依し、石山合戦の際には蘭丸を通じて信長と本願寺の和睦に尽力したことで知られて

います。本堂の裏手には妙向尼と為忠の墓碑があり、歴史が偲ばれます。

十一月のある日、報恩講の夜に「お寺でコンサート」があると聞き、夜の常照寺を訪れました。お寺でコンサートは、音楽活動をされている縁のある方々をお招きし、一般の方にもお寺に足を運んでもらいたいと思いを込めて二十八年の間続けられてきた活動ですが、今回が最後になるということです。



お寺でコンサート

境内に入ると少し雨は降っていましたが、門徒さんや近所の方など、小さい子やお年寄り、様々な年齢層の方が来られていました。毎年来られている方や、最後だからと久しぶりに足を運んだ方など、大勢の方がいらつやいました。

会場となる本堂は、浜縁に面する扉が外され、参詣席が舞台に、浜縁が客席となります。コンサートのために住職の見祥さんから挨拶があり、「毎年、報恩講の夜にコンサートを開催してきました。途中コロナもありましたが、なんとか活動を長年続けて来られたのは感慨深いことです」と話されました。



挨拶をする住職の見祥さん

演奏や歌が披露されると、訪れた方々は寒さも忘れて聞き入っているようでした。夜の境内に響く素敵な音楽を通して、お寺や門徒、一般の方といった垣根を越えて、居合わせた方々が一体となるような時間になりました。

合間の休憩には、門徒さんがお手伝いされて、温かいぜんざいが振る舞われました。一生懸命に準備をされている門徒さんの姿を見て、見祥さんの思いが三十年近く続いていたのだと感じました。常照寺は今回で最後となりますが、長年続いてきた活動の終わりは、単なる終わりではありません。訪れている方々を見ると、一般の方にもお寺の門戸を開きたいという思いを感じます。伝わった思いは、報恩講をはじめ、今後も続けられていく年中行事に繋がっていくのだと思います。大切な思いが人々を通じて伝わっていくことを実感する取材となりました。

(岐阜高山教区通信員・河合 文)

書棚

◇書籍の内容や本のお求め等については、直接お問い合わせ先へお願いいたします。
◇本棚への掲載を希望する方は、左記までご連絡ください。
東本願寺出版(真宗大谷派系務所出版部)
「真宗」係
TEL 075-371-5099

中村久子とお念仏―久子の二河白道に学ぶ

三島 多聞 著
◆四六判 296頁・2750円(税込)



病気で四肢を失い、厳しい偏見と差別に抗ってきた中村久子氏が、お念仏に出会って、比較を超えた「あり

のままの救い」に気付き受け入れるまでを、「二河白道」の教えに導かれ記した評伝。

本書は前編・中編・後編に分かれ、前編は「中村久子の戦ってきた道」の題のもと、久子氏が幼児期に両手両足を失ってから、興行界での活動、家族との死別と、四十二歳までの壮絶な生きる戦いの日々が語られます。中編では、「中村久子の越えて来た道―中村久子の二河白道」として、久子氏が通った「二河白道」とは何か、「教行信証」信巻に引かれる「二河白道」全文を通して

確かめ、その歩みに学んでいきます。後編では「中村久子の憶念」として、久子氏の求道心の原点が見つめられます。

著者である三島多聞氏(高山別院輪番・中村久子女史顕彰会代表)は、あながきにて「縁に触れて思われてくる念仏は自然な精進努力となり、他者への尊敬の念をうんでくる。このことを久子さんの人生から知らしてもらった」と記しているが、その著作や久子氏愛用の『真宗聖典』を丹念に読み込み、久子氏の人生に向き合い学び続けた歩みの結晶と言える一冊です。

(お問い合わせ)

株式会社 春秋社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目18番6号
TEL 03-3255-9611
FAX 03-3256-1684
<https://www.shunjusha.co.jp/>

大垣警察市民監視事件

「もの言」 自由を手放さないために

◆A5判 177頁・1980円(税込)

本書は、大垣警察市民監視違憲訴訟名古屋高裁判決書を中心とした裁判の記録書です。

「事件」と裁判のきっかけは、松島勢至さん(大垣教区第十二組傳香寺住職)が、地区に持ちあがった風力発電施設建設による自然破壊や健康被害



を危惧し、地域の仲間であり養鶏業を営む、傳香寺門徒総代・上鍛治屋地区区長、後に上石津町町会議員となつた三輪唯夫さんと勉強会を立ち上げたことに始まります。すると大垣(公安)警察は、中部電力の子会社で風力発電を担うシーテック社に学歴等の個人情報提供を流し、「平穏な大垣市」を壊す者に気を付けよと言ったのです。

松島さんは結婚・入寺して間もなく、地元のゴルフ場建設反対運動をした時に、「坊さんはお経を読んでおればいい、世の中のことに関わるな」と言われたそうです。松島さんは、四人の原告の一人でしたが、岐阜地裁・名古屋高裁を通じて出廷する時はいつも法衣姿でした。「真宗は自己を課題とし自己を問うものですが、その自己とは社会の中に生きている自己です」と、本書掲載の裁判の原告陳述書で述べています。仏教徒・真宗門徒として地域の人びとと共に生きるという姿勢を貫いておられたのです。

「もの言う」自由を守る会共同代表

大垣教区第六組信願寺住職 稻葉當意
(お問い合わせ)

風媒社
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1丁目16-29
TEL 052-221-8780
FAX 052-218-7709
E-mail info@fubaisha.com

Be Real
寄りそう知性

 **大谷大学**

2026年度 科目等履修生・聴講生 募集!!

科目等履修生制度・聴講生制度とは、本学学生とともに大学院・大学の正規授業を受講できる制度です。

科目等履修生制度

正規の授業を履修し、定期試験等に合格することで、大学の単位として認められます。

こんな方におすすめ!

- ・学びたい
- ・資格が欲しい
- ・学位をとりたい

試験を受けて
実力確認

※対象者は基礎資格を有する者に限定されます。

聴講生制度

学部・大学院の授業を履修することができます。単位認定のない制度ですので、試験を受ける必要がなく、関心のある分野の教養を深めたい方に適しています。

こんな方におすすめ!

- ・学びたい
- ・教養を深めたい

- 出 願 期 間 : 2026年3月23日(月)～ 3月27日(金)
上記期間中に2026年度の授業科目名・時間割等を公表します。
- 選 考 方 法 : 書類選考
- 選 考 料 : 10,000円
- 合 格 発 表 : 2026年4月3日(金)
- 登 録 料 : 科目等履修生【15,000円】 聴講生【10,000円】
- 履 修・聴 講 料 : 科目等履修生 履修料【15,000円/単位】 ※実習該当者は諸経費別途納入
聴講生 聴講料【15,000円/科目(半期)】
* 履修・聴講可能科目の制限があります

申込み・問い合わせ先

《教務課》 TEL: 075-411-8117 (直通)

各制度の詳細はHPでご確認ください ▶

2026 3/22日 オープンキャンパス開催!

大谷大学のRealな学びを体験しよう!

保護者の方だけの参加も大歓迎です!

大学紹介

学部別学び紹介

キャンパスツアー

PICK UP!

小論文型入試セミナー

小論文の書き方の基礎を知ろう! 総合型、公募等の小論文型入試を考えている受験生は、ぜひご参加ください!

詳細・事前申込みはこちら ▶
当日参加も可能!

〒603-8143 京都市北区小山上総町 入学センター

TEL: 075-411-8114 FAX: 075-411-8160

E-mail: nyushi-c@sec.otani.ac.jp

 大谷大学

大学HPはこちらでご覧になれます ▶

お彼岸

お念仏一仏のよび声
亡き友に学ぶ
砂山春一

東本願寺

念珠かけた帰命の姿尊かり

**昔から良品安価で御信用いただいで居る
東本願寺前**

念珠

販売

北川与三兵衛商店

〒160-8157 東京都千代田区下丸数屋町通烏丸東入
電話 〇七五―三七一―二五五六番
FAX 〇七五―三三五―二三三六番

お彼岸

2026年春版

- お念仏一仏のよび声
市野光生（東京教区千葉組道誠寺住職）
- 亡き友に学ぶ
砂山春一（能登教区第十組光行寺來徒）

新書変形判／15頁 定価：77円(税込)

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

東本願寺出版

HONDO IN PUBLISHING

〒600-8505 京都市下南区高丸通七条上6
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

詳しい書籍情報・試し読みは
東本願寺出版 **検索**

愛知県 長泉寺様
本堂屋根改修工事(チタンカナメ段付本瓦葺き)



想いを匠技でかたちにする

カナメの社寺建築



株式会社

カナメ

社寺新築・改修工事
チタン屋根 / 地震台風対策
太陽光発電など

本 社

栃木県宇都宮市平出工業団地38-52

TEL.028-663-6300

名古屋支店

TEL.0586-71-2882

岡 山 支 店

TEL.086-245-2541

ものづくり日本大賞受賞
(経済産業大臣賞)
「チタン カナメ段付本瓦葺き」



GOOD DESIGN

カナメ チタン段付本瓦葺き

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT



GOALS

研修・会議名		担当部	人数	期間
2025年度新任同朋会館嘱託補導・新任同朋会館教導奉仕研修	研修部	研修部	79	1/14～1/16
2025年度全国教区駐在教導研修会	企画調整局	研修部	36	1/22～1/23
2025年度第6回後期教師修練	研修部	研修部	11	1/30～1/31
計3団体			126名	

▼諸研修(26・1月)▲

計2期間	2団体	5名
------	-----	----

▼縁(26・1月)▲

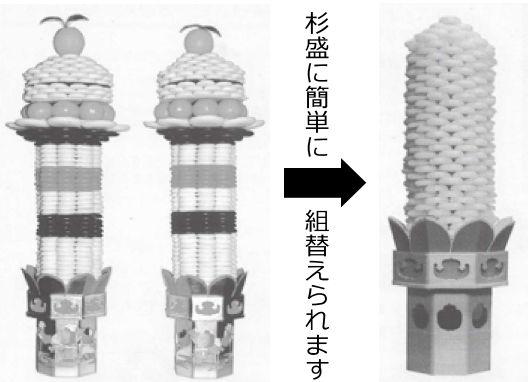
声 明 作 法	お 稽 古 奉 仕 団	研 修 部	人数	期間
東 京 英 城 1	推進員養成講座後期教育 本山出向教学研鑽奉仕団	岩 松 知 也	109	1/30～2/1
新 潟 第 1	農 家 奉 仕 団	戸 次 誠 一	11	1/26～1/28
小 松 大 聖 寺 第 6	門 徒 会 奉 仕 団	西 山 賢 一	21	1/21～1/23
大 垣 共 学 研 修 院 宿 泊 研 修 奉 仕 団	共 学 研 修 院 宿 泊 研 修 奉 仕 団	高 橋 賢 一	22	1/22～1/23
京 都 四 国 エ リ ア 養 成 部 研 修 生 奉 仕 団	四 国 エ リ ア 養 成 部 研 修 生 奉 仕 団	水 井 貴 宗	9	1/9～1/11
山 陽 四 国 奉 仕 団	田 中 将 登	田 中 将 登	8	1/26～1/27
計7団体			175名	

▼真宗本廟奉仕(26・1月)▲

真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告

(研修部)

新案 須弥盛 (オリジナル商品)




新案須弥盛の特徴

「新案須弥盛」は、お華束を須弥型や杉盛に盛るための仏具です。「新案須弥盛」は芯棒を中心に食品サンプルと同じ素材で出来た餅板を重ねて出来ていますので、間にお餅を挟んだりしても違和感がありません。どこの部分までを仏具として使用されても、そのすべての使い方に対処出来るように設計されております。

杉盛に簡単に組替えられます

「新案 須弥盛」の詳細は「京仏具犬塚ホームページ」でどうぞ



御読みの京仏具を真心こめてつくる店

京 仏 具 犬 塚

☎500-8150 京都市下京区東洞院通上珠数屋町角

☎075-351-6553 FAX075-341-0414

御連絡はフリーダイヤル ☎0120-20-6553 どうぞ



同朋大学

DOHO UNIV.

～共なるいのちを生きる～

2026年度 入学者選抜試験日程

<文学部・社会福祉学部>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜3期	2月9日(月)～3月10日(火) [消印有効] (窓口受付:3月11日(水) 10:00～16:00)	3月14日(土)	3月17日(火)

<別科 仏教専修>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
別科選抜2期	2月9日(月)～3月4日(水) [消印有効] (窓口受付:3月5日(木) 10:00～16:00)	3月14日(土)	3月17日(火)

<大学院 人間学研究科 仏教人間学専攻>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
〈博士前期課程〉 大学院選抜3期 【仏教文化分野】【人間福祉分野】 【臨床心理分野】	2月20日(金)～3月4日(水) [消印有効] (窓口受付:3月5日(木) 10:00～16:00)	3月14日(土)	3月17日(火)
〈博士後期課程〉 大学院選抜2期 【仏教文化分野】【臨床心理分野】			

※仏教文化分野、人間福祉分野のみ。入試状況により臨床心理分野も3期を実施する場合があります。
 ※上記以外の試験制度もあります。詳しくは同朋大学Webサイトをご覧ください

2026 OPEN CAMPUS ▶▶▶ 3/21(土)

時間:10:00～15:00(開場9:40) 予約制

内容:模擬授業、個別相談、キャンパスツアー、各種体験コーナーなど※

※内容は変更となる場合があります。詳細は大学HPでご確認ください。

◆知文会館 2026年度講座(前期)◆

真宗講座〈歎異抄〉

■日時:毎月29日 ■時間:10:00～12:00/13:00～15:00(午前・午後で通し) ■会費:無料

開催月	講題	講師名
2026 4月(水)	序章	市野 智行 准教授
5月(金)	第1章	安藤 弥 教授
6月(月)	第2章	松山 大 講師

開催月	講題	講師名
7月(水)	第3章	伊奈 潔 講師
8月(土)	第4章	澤崎 瑞央 専任講師
9月(火)	第5章	黒田 浩明 講師

最新情報は大学HPにてご確認ください。 お問合せ:文学部研究室 (TEL) 052-411-1426

同朋大学

E-MAIL:nyushi@doho.ac.jp TEL:052-411-1247

FAX:052-411-4124

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町 7-1 WEB:https://www.doho.ac.jp/

■文学部
仏教学科/人文学科

■社会福祉学部
社会福祉学科
心理学専攻/社会福祉専攻/子ども学専攻

■大学院
人間学研究科 仏教人間学専攻
仏教文化分野/人間福祉分野/臨床心理分野

■別科
仏教専修

金沢真宗学院生募集要項

(目 的)

現代社会は、われわれ人間のあくなき欲望により、さまざまな問題を露呈しております。それらの問題の根には、いのちを自分のものとして了解するという、現代人の関が横たわっています。宗門の課題は、親鸞聖人の教えによって、その関が照らし出され、慙愧と報恩のこころ、すなわち南無阿弥陀仏なるいのちを取りもどし、如来の本願の教えを生きる人間を生み出すことでもあります。本学院は、このような課題を背負って次代を生きんとする真宗大谷派教師の養成を目的としております。それは、無量寿なるいのちに目覚め、無量寿なるいのちに生きんとする、求道人の「生み出す」ことでもあります。

3年間 月平均10日間 18時～20時
土曜日・日曜日・祝日は原則として休講
高等学校卒業またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者
(募集定員) 20名程度

(出願資格)
①入学願書(所定用紙・消えるボールペン不可) ②最終学校卒業証明書または在学証明書(卒業証書のコピー不可) ③レポート「金沢真宗学院入学にあたってのわたしの願い」(字数800字程度) ④受験料1万円

(出願期間) 2026年3月2日(月)～3月31日(火) (平日9時～17時、土・日・祝日を除く)

(入学料金) 2026年4月9日(木) 【審査内容は面接です】
後日、本人へ直接通知します。

(合格発表) 2026年4月9日(木) 【審査内容は面接です】
後日、本人へ直接通知します。

(聴講生制度) 本科生の他に、真宗の学習を希望する方々の制度です。
(聴講期間) 1年間(原則として、第1学年からとなります)
(募集人員) 若干名
(申込手続) (1)提出書類 聴講願書(所定用紙・消えるボールペン不可)
(2)出願期間 2026年3月2日(月)～3月31日(火)
(平日9時～17時、土・日・祝日を除く)
(面接日) 2026年4月9日(木)
(許可通知) 後日、本人へ直接通知します。

(お問い合わせ 資料請求先) 〒920-0854 石川県金沢市安江町15番52号
真宗大谷派金沢教務所内 金沢真宗学院事務所
TEL 076-2265-1519
FAX 076-2265-5192
E-mail kanazawa@higashihonganj.or.jp

名古屋真宗学院生募集要項

(目 的)

親鸞聖人が開顕された浄土真宗の教えに基づき、仏祖崇敬の念をもって教法を開示し、儀式執行の行儀を修得して、本派の教師たるにふさわしい人材を養成することを目的とします。

3年間 入学式・特別講義 2026年5月7日(木)
前期 2026年5月8日(金)～6月25日(木) 7週35日間
後期 2026年10月5日(土)～26日(月) 3週15日間
※ただし、7月4日(土)～5日(日)、9月26日(土)～27日(日)に泊研修会を実施の予定。
18時～21時(土・日・祝日は休院日)

(授業時間) 高等学校卒業、または高等学校卒業と同等の学力を有すると認められた者
2026年3月2日(月)～3月13日(金)
※平日9時～16時30分(土・日・祝日を除く)

(出願手続) 入学願書(所定用紙・写真(入学願書添付用以外に1枚、4cm×3cm)・最終学校卒業証明書または在学証明書に受験料5千円を添えて、本学院事務局へ提出してください。
2026年3月24日(火)16時、名古屋教務所にて筆記試験(国語・社会に関する問題)・面接(再面接も有)

(入学料金) 入学金5万円、研修費4万円/年、授業料1年生12万円・2年生14万円・3年生14万円、施設設備費3万円(教区外のみ)/年

(お問い合わせ 資料請求先) 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋2丁目8番55号
真宗大谷派名古屋教務所内 名古屋真宗学院事務局
TEL 052-3331-2468
FAX 052-3321-5845
E-mail nagoya@higashihonganj.or.jp

月刊 同朋

まずは、お寺で1冊ご購入ください!
◇ご門徒へのプレゼント、法要・行事の記念品としてもご利用ください。

「同朋」は生活の視点から、
浄土真宗に親しむための月刊誌です

3月号特集 服を着る——どんな世界を身になろう?

(インタビュー)
風変わりな新しい、連帯のモチーフをつくっていく。
super-KIKI (アーティスト)
まとうことは、その人すべてを包み込むこと。
石垣昭子 (染織家)
この一着に、どれだけの綿花が必要なのか。
eri (デザイナー・アクティビスト)

(寄稿)
戦争と衣服—国民服を中心に
朝日真 (文化服装学院専任教授)
チマ・チョゴリと裁判
李信恵 (フリーライター)
攻撃するから強い、じゃなくて
山内尚 (漫画家)
クローゼットを焼く覚悟
清水えす子 (文筆家)
親鸞はどんな「衣」を着たのか
日野賢之 (真宗大谷派僧侶)

巻頭インタビュー チョン・ユギョン (現代アーティスト)

魅力ある連載

後生の一大事を心にかけて
ニューヨークから開教便り

地獄・極楽を読み解く
新解「往生要集」

哲学者と僧侶
「私をめぐる往復書簡」

土井善晴の
お斎の風味をたずねて

大谷大学名誉教授
ロバート F.ローズ

僧侶
中山善雄

僧侶
名倉 幹

対話 生きづらいこの世界でも
ジャーナリスト 竹田ダニエル ミュージシャン 春ねむり (後編)

月刊『同朋』の電子書籍について
お待たせしました!
本年1月号から、Kindle (Amazon) や楽天 Kobo など
購入いただけますので、「紙」でも「電子」でも、
「同朋」をお楽しみください!
詳しくは「東本願寺出版」 検索

◆FAX・電話・ハガキ・メール、またはオンラインショップ
でお申し込みいただけます。
◆代金は、「同朋」と共に送付いたします振込用紙にて、
お支払いください。
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版「同朋」係
TEL: 075-371-9189 FAX: 075-371-9211
メール: books@higashihonganj.or.jp

●毎月1日発行 ●購読料 年間 4,400円 (税込・送料込) 1冊 440円 (税込・送料別)
●A4判 フルカラー60頁 2025年7月号から価格改定

本廟部 式務所

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9188 FAX.075-371-9205

第109回 中央声明講習会開催要項

儀式条例施行条規第16条により、修業及び准堂衆の育成を図り、もって本派の声明作法の伝統を保持するため、中央声明講習会を開催いたします。

- 1 期 間 【本科】2026年5月11日(月)から22日(金)まで
受付：5月11日(月)8時45分から9時30分まで
【別科】2026年6月1日(月)から5日(金)まで
受付：6月1日(月)8時45分から9時30分まで
- 2 講習時間 毎日9時～17時、8時限（※日曜日は休み）
- 3 会 場 【本科】式務所・研修道場等【別科】式務所等
- 4 受講資格 【本科】満20歳以上の派内僧侶
【別科】成績優秀な本科修了者である教師
【聴講】〈本科〉本科修了者のみ
〈別科〉別科修了者のみ

- 5 定 員 【本科】1～3回生 各65名
【別科】1～2回生 各30名
【聴講】本科・別科 各5名以内
- 6 研修費加金 【本科】60,000円（聴講50,000円）
【別科】40,000円（聴講40,000円）
※当日、受付にてご納入ください。

- 7 服 装 講習中：色服または白服・間衣・墨袈裟・小念珠
開会式・閉会式：白服・直絨・墨袈裟・安静形
念珠・中啓
※別科課程では晨朝出仕を行うため、上記の
他、必ず色服・白威儀青袈裟・木念珠（長
房）を持参のこと。

- 8 持 ち 物 【本科】『真宗大谷派声明集』『真宗大谷派御
文拝読稽古本』『真宗の儀式』（東本願寺出版）
（1・2・3回生）、『真宗大谷派御文鈔拝読
稽古本』（同前）（2・3回生）、『新修浄土三部経音読教本』（永田文
昌堂に限らず本三のものであれば可）（1・2・3回生）、『和訳正信偈』
〈法蔵館〉（1回生）
【別科】『真宗大谷派声明集』（東本願寺出版）（1・2回生）、『真宗大
谷派御文拝読稽古本』（同前）（2回生）、『大谷声明集（下）』（法蔵館）
（1・2回生）、『坂東曲念仏讃』（2回生）
※その他科目により各自必要な声明本を持参のこと。

- 9 申込締切 【本科】：2026年4月6日(月) 教務所必着
【別科】：2026年4月13日(月) 教務所必着

- 10 申込方法 願書は教務所にございます。受講希望者は願書を教務所から取り寄せ、
必要事項を記入のうえ、所轄の教務所を経由して本廟部式務所に提出
してください。また、願書は宗派ウェブサイトにもございます。

- 11 そ の 他 受講を許可した方には本廟部から本人宛に受講通知を郵送いたします。

近年、宿泊代高騰のため受講困難というお声をいただいております。今回、詰所に期間中の
受入れ協力をお願いいたしました。安価で宿泊できますので、ぜひご利用ください。
【協力詰所：東浅井詰所（TEL：075-343-2918）、伊香詰所（TEL：075-351-4093）、
砺波詰所（TEL：090-3344-6468）】

中央声明講習会 科目割表												【本科】
同朋会運動について	和訳正信偈	外陣出家作法	路念仏・後座出家作法	内陣・後座出家作法	声明	調声	三經偈	勸業偈	阿弥陀經	觀無量壽經	高僧回向	正信
式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式
雅楽	莊嚴	音	御	式	報	無	御	念	正	正	二	回
楽	装束	楽	俗	間	講	量	壽	讃	像	信	回	生
概	焼香作法	概	論	念	陀	經	文	向	末	偈	生	
論		論	上	卷		上	二・帖目	三・帖目	次	墨	生	
御	行	漢	無	御	念	三	浄	文	類	三	回	生
伝	道	音	量	讃	回	帖	土	類		回		
	伽	阿	壽	回	和	和						
鈔	陀	經	經	文	向	讃	次	偈				
下			下	三	二	展	第					
卷			卷	四	海	転	章					
				帖								

【別科】											
百遍	坂東	御早	念回	正信	一	回	生				
念仏	曲引	向	偈	切句	偈						
仏曲	甲	土	切句	偈							
		詣	偈								
往	坂東	伽	文	二	回	生					
生	の	御	偈								
礼	東	文	偈								
讃	曲	陀	偈								
	乙	土	偈								
		土	偈								

※科目割は変更する場合があります。

総合相談室

ご利用になる皆様の個人情報に最大限の注意を払い運営しておりますので、安心してお気軽にご相談ください。
なお、宗務所に面談にお越しになる際は事前にご予約をお願いします。

結婚相手求む

● 寺院に迎えたい 〈家族構成〉

神奈川県	男性	44歳	両親
富山県	男性	44歳	
岐阜県	男性	40歳	両親・姉弟
岐阜県	男性	49歳	
岐阜県	男性	54歳	母・弟
岐阜県	男性	39歳	
愛知県	男性	55歳	
愛知県	男性	41歳	
愛知県	男性	49歳	
愛知県	男性	46歳	
愛知県	男性	39歳	
三重県	男性	45歳	両親
三重県	男性	53歳	両親
大阪府	男性	38歳	両親
大阪府	男性	43歳	

北海道	女性	37歳	
山形県	女性	34歳	両親
新潟県	女性	38歳	
富山県	女性	50歳	
石川県	女性	35歳	
福井県	女性	39歳	両親
岐阜県	女性	41歳	両親
愛知県	女性	30歳	
滋賀県	女性	28歳	母・妹
大阪府	女性	38歳	両親
大阪府	女性	39歳	

● 寺院に入りたい

東京都	男性	50歳
-----	----	-----

入寺希望

秋田県	男性	58歳	有教師・東北教区希望
東京都	男性	56歳	有教師
東京都	男性	42歳	有教師
東京都在住	男性	43歳	有教師
東京都在住	男性	50歳	有教師・東京教区希望
埼玉県	男性	47歳	有教師
新潟県	男性	46歳	有教師・新潟県希望
石川県	男性	67歳	有教師・富山・能登・金沢教区希望
岐阜県	男性	76歳	有教師・岐阜県希望
愛知県	男性	70歳	有教師・愛知県・岐阜県・三重県希望
大阪府	男性	67歳	有教師・大阪府・奈良県希望
大阪府在住	男性	53歳	有教師・大阪教区希望
鹿児島県	男性	46歳	有教師

法務員・寺務員求む

北海道／山形県／東京都／埼玉県／埼玉県 證大寺／神奈川県／新潟県／新潟市 真宗寺／
新潟市 超願寺／岐阜県／愛知県／大阪府／長崎県 法務員募集 詳細は面談で

後継者求む

北海道	有教師	50歳まで
北海道	有教師	25歳まで
北海道	有教師	要運転免許・40代まで
北海道	有教師	性別・単身・家族連れ不問・69歳まで
秋田県	有教師	性別・単身・家族連れ不問・50代くらいまで
山形県	有教師	性別・単身・家族連れ不問・50代くらいまで
宮城県	有教師	単身・家族連れ不問
長野県	有教師	50代まで
長野県	有教師	
新潟県	有教師	
新潟県	有教師	家族連れ・40代まで
新潟県	有教師	65歳くらいまで・要運転免許
東京都	有教師	50代まで・要運転免許
富山県	有教師	家族連れ・50代くらいまで
富山県	有教師	家族連れ・40代くらいまで
富山県	有教師	70歳くらいまで・要運転免許
石川県	有教師	40代くらいまで
石川県	要運転免許	性別・単身・家族連れ不問・50代くらいまで
石川県	有教師	家族連れ・40代まで
石川県	有教師	家族連れ・50代まで
石川県	有教師	家族連れ
福井県	有教師	家族連れ・60代くらいまで
岐阜県	有教師	20～40代まで
岐阜県	有教師	家族連れ・50代まで
愛知県	有教師	家族連れ・40代くらいまで・要運転免許
愛知県	有教師	家族連れ
愛知県	有教師	家族連れ
愛知県	有教師	30代くらい
愛知県	有教師	家族連れ・40代くらいまで
愛知県	有教師	45歳まで
三重県	有教師	男性・40代まで
三重県	有教師	
滋賀県	有教師	
滋賀県	有教師	50代くらいまで
滋賀県	有教師	家族連れ
滋賀県	有教師	
滋賀県	有教師	家族連れ
滋賀県	有教師	家族連れ・40代まで
滋賀県	有教師	要運転免許・65歳まで
大阪府	有教師	家族連れ・60代くらいまで
福岡県	有教師	家族連れ
福岡県	有教師	家族連れ・60代くらいまで
大分県	有教師	30代くらいまで
長崎県	有教師	家族連れ
鹿児島県	有教師	独身・30代まで
鹿児島県	有教師	

法務員・手伝い希望

長野県	男性	有教師
三重県	男性	有教師 愛知県希望
滋賀県	男性	有教師 京都教区・関西地方希望
福岡県	男性	



「後継者相談」「入寺希望」について、宗派公式ウェブサイトでも情報登録並びに情報提供に関するお申し込みを受けています。

総 務 部

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9272 FAX.075-371-1214

2027年宗務役員(一般職)募集要項

長い歴史の中で親鸞聖人の教えが伝承され、私たちにまで届けられました。
宗門を取り巻く環境が激変する現代において、この教えを次世代に伝えていくことが願われています。
全国のたくさんの寺院、僧侶、門徒とともに教えを聞き、全世界に真宗の教えを届けていくため、
このたび、真宗大谷派宗務役員として、諸事業に従事いただける方を募集いたします。
具体的な仕事として、窓口で参拝者をお迎えする仕事、寺院や僧侶の活動をサポートする仕事、教え
や活動を知ってもらうための広報や出版に関する仕事、それらを支える会計や事務等の仕事があります。
ともに学び、成長し、熱意をもって宗派運営の一翼を担っていただける仲間を心待ちにしています。
ぜひご応募ください。

- 1 募集人員 若干名
- 2 勤務先 宗務所の各部門、東京宗務出張所、教務所及び教務支所(全国31ヵ所)、海外開教監督所その他
- 3 勤務時間・休日等 平日8時30分から17時まで。
※配属先によっては、勤務日及び勤務時間が異なる場合があります。
※所定時間外労働及び休日勤務がある場合があります。
※1週間に2日の定例休日の他に、年末年始休日、年次有給休暇、夏期休暇、特別休暇等があります。
- 4 採用 2027年4月1日付で採用され、試用期間(1ヵ月以上1年以内)を経て正式に任用されます。
採用後、約4ヵ月間は研修期間となります。職務の基本姿勢や宗門法規の概要、宗門の歴史や各種事務概要を学びつつ、各種法要や行事への参加、各部門や教務所での実習を経て、8月に正式配属となります。
- 5 労働条件 ①基本給 230,000円(昇給 年1回 ※役職によって上限あり)
※試用期間中は200,000円となります。
②諸手当あり(通勤手当、時間外・休日勤務手当、家族手当、一時金等)
③各種保険あり(健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険)
④福利厚生あり(借上役宅制度、家賃補助、慶弔見舞金等)
⑤定年あり(60歳)※定年後、再雇用制度あり(65歳まで)
⑥退職金あり(3年以上勤務者のみ)
- 6 応募資格 ①高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者
②真宗大谷派の僧侶又は門徒(帰敬式を受式し、所属寺が明確であること)
- 7 応募書類 ①履歴書・自己紹介書(自筆もしくはパソコンによる入力可)
※署名は必ず自署押印ください。
②写真(上半身で3ヵ月以内に撮影のものを履歴書に添付のこと)
③最終学校卒業証明書または卒業見込証明書
④最終学校成績証明書
※①の所定用紙は、宗務所総務部及び各教務所に備付のもの、もしくは宗派公式ウェブサイトにて公開したものを使用してください。
※③及び④の証明書については、大学卒業後に専門学校を卒業した場合等、最終学校と最高学歴が異なる場合は、それぞれの証明書を提出してください。

8 採用試験の流れ

- (1) 応募書類提出
 - ①提出期間 2026年4月1日(水)～4月24日(金)まで
 - ②提出先 〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
真宗大谷派宗務所 総務部 宗務役員募集係
TEL:075-371-9272(直通)

※書類は、直接持参もしくは書留郵便(簡易書留可)にて4月24日(金)までに必着のこと(持参の場合、平日8時30分から17時まで)。
- (2) 適性検査(SPI3・テストセンター方式)
 - ①受検期間 2026年4月6日(月)～5月1日(金)まで

※応募書類到着後、弊派より受検案内メールを送信します。
- (3) 筆記試験(真宗・仏教に関する基礎知識、作文)及び個別面接
 - ①期日 2026年5月15日(金)
 - ②会場 真宗大谷派宗務所

※詳細は、応募書類提出期間終了後に通知します。

- 9 そ の 他 宗派公式ウェブサイトの「採用情報」ページをご参照ください。
(https://www.higashihonganji.or.jp/info_recruit/job/)



宗派公式ウェブサイト 職員採用特設ページのお知らせ

宗派公式ウェブサイト「採用情報」内の職員採用特設ページには、採用に関する情報や、職員の様々な仕事内容の紹介やインタビュー等を掲載しています。

ぜひ真宗大谷派(東本願寺)で働きたい方など、有縁の方々へのご紹介をお願いいたします。



宗派公式ウェブサイト下部の「採用情報」から、こちらのバナーをクリックいただき、ご覧ください。



宗派公式ウェブサイト
<https://www.higashihonganji.or.jp>

真宗大谷派 採用 検索

スマートフォンからはこちら→



江戸時代から続く信仰の歴史に参加してみませんか？

「蓮如上人御影道中」 自主参加者募集

～真宗本廟と吉崎別院の間を蓮如上人の御影のお供として歩く御仏事～



東本願寺 → 吉崎別院 (福井県あわら市)
4月17日～23日 約200km
吉崎別院 (福井県あわら市) → 東本願寺
5月2日～9日 約220km

蓮如上人による北陸教化のご苦労とその徳を偲ぶ「蓮如上人御忌法要」が、毎年4月23日から5月2日まで、吉崎別院で勤まります。

法要にあたっては、真宗本廟から蓮如上人の御影を御輿に乗せ、上人が歩いたとされる道のりを徒歩で7日間かけ、琵琶湖を西回りで吉崎別院まで旅をします。法要が勤まった後、今度は東回りで8日間かけて、御影は京都に帰ってこられます。この道のりを「蓮如上人御影道中」と呼んでいます。

寺院や門徒宅といった会所に立ち寄り、随行教導による法話を聞きながら歩む道中では、お参りの方が花をそなえたり、農作業の手を止めて合掌し、念仏される姿も見られます。こうして蓮如上人御影道中は、真宗本廟と上人御教化の地・吉崎をつなぐ大切な御仏事として、江戸時代より今日まで毎年絶えることなく受け継がれています。

京都・吉崎間の長い道のり、険しい坂道や峠も通るため、多くの方にお供としてご参画いただくことが必要です。「動く道場」ともいわれる御仏事としての御影道中に、ぜひご参加ください。

【申込方法】

事前に「自主参加申込書」を吉崎別院に提出してください。後日、御影道中協力会より確認の連絡があります。「自主参加申込書」は、吉崎別院のホームページからダウンロードいただけます。

【参加費用】 ※出発（参加）当日に担当者へお支払いください。

◆全行程参加：御下向（京都→吉崎）50,000円／御上洛（吉崎→京都）60,000円
（宿泊費・食事代・サポート懇志金含む）

◆区間参加：一泊9,000円（夕・朝食付）、昼食代1,000円
サポート懇志金（保険含む）1日1,000円

※宿泊・昼食・サポート（保険付加）をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。

【参加にあたっての諸注意】

- ①宿泊は、20人を目安にしています。人員が目安を超える際は、話し合いをさせていただきます。
- ②宿泊は、大広間や本堂で全員一緒に宿泊する場所もあります。
- ③道中はあくまでも「御仏事」です。ハイキングやレクリエーションではありません。観光での参加はお断りさせていただいております。
- ④持病のある方は、申込時に必ず申請をしてください。なお、症状によっては参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。
- ⑤道中は時速5km前後の速さで歩きます。十分に歩く訓練をなさってご参加ください。
- ⑥道中は過酷で、車の交通量が非常に多い区間もあります。区間毎の参加も受け付けておりますので、お身体と十分に相談のうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

その他詳細・注意事項は、吉崎別院ホームページ等でご確認ください。

申込締切 御下向：2026年3月31日(火)
御上洛：2026年4月10日(金)
「自主参加申込書」吉崎別院必着

「御影道中」参加に関するお問い合わせ
真宗大谷派 吉崎別院
TEL: 0776-75-1904（受付時間 8時30分～16時30分）



蓮如さんゆかりの吉崎別院での『御文』講習会 参加者募集



蓮如上人ゆかりの吉崎別院を会場に『御文』の読み方の講習会を開催します。

講習会では吉崎御坊と蓮如上人や『御文』について学ぶ講義の時間もあり、『御文』や蓮如上人、吉崎御坊について往時を偲びながら学ぶことができます。読法の講師は本廟部堂衆が勤めます。

また、日程2日目には蓮如上人御祥月の法要（廿五日講）にもご参拝いただけます。ぜひ、ご参加ください。

- 1 開催日 2026年3月24日(火)～25日(水) ※24日のみの参加可
- 2 会場 吉崎別院（〒922-0679 福井県あわら市吉崎1丁目301）
※新幹線・在来線の芦原温泉駅から「あわらぐるとタクシー」を利用すると吉崎別院最寄りの「道の駅 蓮如の里あわら」まで600円でタクシーが利用できます。
- 3 対象 真宗大谷派の門徒・僧侶
- 4 定員 20名
- 5 参加費 13,000円（1泊2食付き） ※当日現金でお支払いください。
※24日のみの参加（宿泊・夕食なし）の場合6,000円となります。
- 6 日程（予定）

3月24日(火)		3月25日(水)	
13時30分	受付	7時30分	お朝事・朝食
14時	開会	8時30分	吉崎御坊周辺フィールドワーク
14時15分	蓮如上人や『御文』に関する講義	10時	法要・法話
15時15分	休憩	12時	終了
15時30分	『御文』読法講義・実技指導		
17時30分	終了		
18時	夕食		

- 7 講師 【蓮如上人や『御文』に関する講義】
出雲路修氏（元龍谷大学教授・小松大聖寺教区毫攝寺前住職）
【『御文』読法講義・実技指導】
多田 隼氏（本廟部堂衆）
- 8 持ち物 念珠、筆記用具、真宗大谷派勸行集（赤本）、宿泊に必要なもの
※吉崎別院にはタオル・歯ブラシ・寝巻等の備えはありません。
（ドライヤー・シャンプー・ボディソープのみ設置）
僧籍をお持ちの方：問衣、輪袈裟、『御文拝読作法稽古本』（東本願寺出版）
僧籍をお持ちでない方：略肩衣（お持ちの方）、『御文』（普段お内仏でお読みいただいているものなど、ご用意いただけるものをお持ちください）
- 9 申込方法 2026年3月17日(火) までに真宗大谷派吉崎別院（TEL：0776-75-1904）へお電話いただくか、以下の案内ページ内のお申し込みフォームからお申し込みください。

※定員に達し次第締め切らせていただきます。詳しくはこちらをご覧ください



【お問い合わせ】真宗大谷派吉崎別院（福井県あわら市吉崎1丁目301） TEL：0776-75-1904

首都圏教化推進本部（東本願寺真宗会館）

〒177-0032 東京都練馬区谷原1丁目3番7号
TEL.03-5393-0810 FAX.03-5393-0814

首都圏教化推進本部職員（推進要員）募集要項

このたび、首都圏教化推進本部職員（推進要員）を下記のとおり募集いたします。
首都圏の人口は全国の約3割を占めており、今後もその傾向が続くことが予測されます。
当本部では、これまで「真宗」の教えに縁のない一般市民や郷里を離れた転居門徒の皆様へ教えをお届けするため、真宗会館における「日曜礼拝」や主要ターミナル駅近郊での「親鸞講座」などの諸事業に取り組んでおります。
目まぐるしく変化する現代社会において、あらゆる視点から物事を考え、熱意をもって取り組んでいただける方を募集しております。ぜひご応募ください。

- 1 募集人員 若干名
- 2 勤務先 首都圏教化推進本部（東本願寺真宗会館）※雇用後、勤務場所の変更はありません。
- 3 勤務 平日9時から17時30分まで。ただし、土曜日、日曜日及び祝日の勤務の場合があります。なお、業務次第では、土曜日及び日曜日は出勤日とし、1週間に2日の定例休日があります。
※所定外労働及び休日勤務があります。
※上記定例休日の他に年次有給休暇、夏季休暇、特別休暇等があります。
- 4 業務内容 東本願寺真宗会館の年中行事や都心部における公開講座、その他首都圏開教のための様々な教化事業の企画立案・運営 ※雇用後、従事すべき業務の変更はありません。
- 5 雇用期間 2026年4月1日から2027年3月31日まで
※契約更新する場合がありますが、60歳を超える契約は行いません。また、更新の上限年数はありません。
- 6 試用期間 採用後、3ヵ月間を試用期間とする
- 7 給与 ①初任給 230,000円 ②他に諸手当及び各種保険、役宅あり
- 8 応募資格 ①高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者
②真宗大谷派の教師（2026年4月1日までに修得見込みの者を含みます）
- 9 応募必要書類 ①履歴書・自己紹介書（所定の用紙に自筆のこと）
②写真（上半身で3ヵ月以内に撮影のものを履歴書に添付のこと）
③最終学校卒業証明書又は卒業見込証明書
④最終学校成績証明書
※①の所定用紙は、宗務所総務部及び各教務所に備付のもの、もしくは宗派ウェブサイトより印刷したものを使用すること。
※③及び④の証明書については、大学卒業後に専門学校を卒業した場合等、最終学歴と最高学歴が異なる場合はそれぞれの証明書を提出してください。
※真宗大谷派教師資格修得見込者については、上記の他「大谷派教師課程単位修得見込証明書」を同封してください。
- 10 採用試験の流れ（1）応募書類提出
①提出締切 2026年2月2日(月)から2026年3月3日(火)まで
②提出先 〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7
首都圏教化推進本部（東本願寺真宗会館）推進要員募集係
TEL：03-5393-0810（受付時間：9時から17時まで）
※書類は、直接持参もしくは郵送（簡易書留可・3月3日必着）にて。
（2）適性検査（SPI3・テストセンター形式）
①受検期間 応募書類提出から2026年3月7日(土)まで
※応募書類提出後、弊派より受検案内メールを送信します。
（3）筆記試験（真宗・仏教に関する基礎知識等）及び個別面接
①期日 2026年3月10日(火) ②会場 東本願寺真宗会館
※詳細は、応募書類受理後に追って通知します。

首都圏教化推進本部（東本願寺「真宗会館」）

〒177-0032 東京都練馬区谷原1丁目3番7号
TEL.03-5393-0810 FAX.03-5393-0814

首都圏教化推進本部職員（法務員）募集要項

このたび、首都圏教化推進本部職員（法務員）を下記のとおり募集いたします。
首都圏には、地方から転居されたご門徒が多くおられますが、中には郷里の寺院との関係が失われてしまうケースも近年少なくありません。
そのような状況にあって、首都圏における教化の総合施設である東本願寺真宗会館では、仏事をご縁としながらご門徒と寺院の関係を継続させていくとともに、真宗会館における諸行事をととして真宗の教えを届けていくことが願われています。
熱意を持って、法務をはじめ諸行事に従事いただける方を募集しております。ぜひご応募ください。

- 1 募集人員 若干名
- 2 勤務先 首都圏教化推進本部（東本願寺真宗会館）※雇用後、勤務場所の変更はありません。
- 3 勤務 8時30分から17時まで。土曜日、日曜日及び祝日の勤務となりますが、1週間に2日の定例休日があります。
※所定外労働及び休日勤務があります。
※上記定例休日の他に年次有給休暇、夏季休暇、特別休暇等があります。
- 4 業務内容 東本願寺真宗会館における崇敬・給仕等の業務並びに首都圏における教化推進のための法務 ※雇用後、従事すべき業務の変更はありません。
- 5 雇用期間 2026年7月1日から2029年6月30日まで
※契約更新する場合がありますが、60歳を超える契約は行いません。また、更新の上限年数はありません。
- 6 試用期間 採用後、3ヵ月間を試用期間とする
- 7 給与 ①初任給 230,000円 ②他に諸手当及び各種保険、役宅あり
- 8 応募資格 ①高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者
②真宗大谷派の教師（2026年7月1日までに修得見込みの者を含みます）
- 9 応募必要書類 ①履歴書・自己紹介書（所定の用紙に自筆のこと）
②写真（上半身で3ヵ月以内に撮影のものを履歴書に添付のこと）
③最終学校卒業証明書又は卒業見込証明書
④最終学校成績証明書
※①の所定用紙は、宗務所総務部及び各教務所に備付のもの、もしくは宗派ウェブサイトより印刷したものを使用すること。
※③及び④の証明書については、大学卒業後に専門学校を卒業した場合等、最終学歴と最高学歴が異なる場合はそれぞれの証明書を提出してください。
※真宗大谷派教師資格修得見込者については、上記の他「大谷派教師課程単位修得見込証明書」を同封してください。
- 10 採用試験の流れ（1）応募書類提出
①提出期間 2026年2月2日(月)から2026年3月24日(火)まで
②提出先 〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7
首都圏教化推進本部（東本願寺真宗会館）法務員募集係
TEL：03-5393-0810（受付時間：9時から17時まで）
※書類は、持参（受付時間内）もしくは郵送（簡易書留可・3月24日必着）にて。
（2）適性検査（SPI3・テストセンター形式）
①受検期間 応募書類提出から2026年3月31日(火)まで
※応募書類提出後、弊派より受検案内メールを送信します。
（3）筆記試験及び個別面接
①期日 2026年4月9日(木)
②内容 筆記（真宗・仏教に関する基礎知識等）、声明作法、個別面接
③会場 東本願寺真宗会館
※詳細は、応募書類提出期間終了後に通知します。

首都圏教化推進本部(東本願寺真宗会館)

〒177-0032 東京都練馬区谷原1丁目3番7号
TEL.03-5393-0810 FAX.03-5393-0814

2025年度 ココロダイアル公開講演会 開催要項

移ろいゆく時代の中で、今お寺に何が求められているのか。あるいは、何も求められない景色としての場所になってしまったのか。そして、そのお寺という場に身を置く私たちはどのように教えに聞いているのか。今回の講演会では、宗教学者の阿満利磨氏を講師に迎え、現代社会におけるお寺の使命と役割について考えます。

ココロダイアルの電話相談窓口は、開設から22年が経過しました。後半の対談では、ココロダイアル助言指導として社会で生きづらさを抱える方の声を聴く三橋尚伸氏と、講師との対談を通して、ココロダイアル開設の願いに立ち返りながら、あらためて宗教の意義と宗教者が声を聴く意味を尋ねてまいります。皆様のご参加をお待ちしております。

- 1 日 時 2026年3月12日(木) 14時～16時
- 2 会 場 東本願寺真宗会館(東京都練馬区谷原1-3-7)
およびオンライン(Web会議サービス「Zoom」による同時配信)
- 3 講 師 阿満 利磨 氏(宗教学者・明治学院大学名誉教授)
- 4 対 談 阿満 利磨 氏×三橋 尚伸 氏(ココロダイアル助言指導・産業カウンセラー・真宗大谷派僧侶)
- 5 日 程 13:30 開場
14:00 開会
14:05 講演 阿満 利磨氏
14:45 休憩
15:00 対談 阿満 利磨氏×三橋 尚伸氏
15:40 質疑応答
16:00 閉会
- 6 受講資格 真宗大谷派の僧侶・坊守・寺族・門徒(Zoom定員300名)
- 7 参加費 無料
- 8 申込締切 2026年3月9日(月) ※定員になり次第締切といたします。
- 9 申込方法 右記コードまたは真宗会館ホームページの専用申込フォームよりお申し込みください。
※オンラインによる参加をご希望の方は、メールアドレスが必須となります。
※オンラインでご受講の方には、3月10日(火)に本講座のご視聴用のZoomのURLをお送りいたします。

【お問い合わせ】 首都圏教化推進本部(東本願寺真宗会館内)
TEL:03-5393-0810 FAX:03-5393-0814 E-mail:info@shinshu-kaikan.jp
真宗会館ホームページ <https://shinshu-kaikan.jp/>

お申し込みは
コチラ

首都圏教化推進本部(東本願寺真宗会館)

〒177-0032 東京都練馬区谷原1丁目3番7号
TEL.03-5393-0810 FAX.03-5393-0814

2025年度 心理的サポートの学習会【公開講座】開催要項

お寺に身を置いている私たちは、ご門徒、有縁の多くの方々との出会いの中で、様々な悩みの相談を受けることがあります。では、悩みを打ち明けられた“私”は、その相談者にどのような気持ちで応じようとしているのでしょうか。また一人の人間として、悩みを抱えた方々と、どのように共に歩んでいくことができるのでしょうか。

この学習会では、「カウンセリング技術をもって人の悩みを聞く」ことだけを主な目的とするのではなく、仏教の視点からも「“私”を知り、人の声に耳を傾ける」ということを通して、あらためて“私”と出会うことを願い、全6回にわたって開催いたします。

- 1 日 時 〔第1回〕2026年4月14日(火) 〔第2回〕4月27日(月) 〔第3回〕5月12日(火)
〔第4回〕5月25日(月) 〔第5回〕6月16日(火) 〔第6回〕6月29日(月)
※時間は全て13時30分～17時
※全回会場のみ。オンラインでの配信はございません。
- 2 会 場 東本願寺真宗会館(東京都練馬区谷原1-3-7)
- 3 講 師 三橋 尚伸氏(ココロダイアル助言指導・産業カウンセラー・真宗大谷派僧侶)
- 4 内 容 〔第1回〕自己を知る(交流分析による自己の交流時の特徴分析とエゴグラム・テスト)
〔第2回〕精神疾患関連の対応とスピリチュアル・ペインへの対応
〔第3回〕傾聴法(傾聴の理論と基本ワーク)
〔第4回〕傾聴法(傾聴技術ワークとロールプレイ)
〔第5回〕傾聴法(傾聴技術ロールプレイと台本使用のケース・スタディ)
〔第6回〕傾聴法(電話相談の特質と傾聴技術ロールプレイ・フリーのケース・スタディ)
- 5 受講資格 真宗大谷派の僧侶・坊守・寺族(会場定員30名)
※以前に同様の研修を受けた方も再受講可能です。
※全回出席することを推奨しています。
- 6 参加費 無料
- 7 申込締切 2026年4月10日(金) ※定員になり次第締切といたします。
- 8 申込方法 右記コードまたは真宗会館ホームページの専用申込フォームよりお申し込みください。

お申し込みは
コチラ

【お問い合わせ】 首都圏教化推進本部(東本願寺真宗会館内)
TEL:03-5393-0810 FAX:03-5393-0814 E-mail:info@shinshu-kaikan.jp
真宗会館ホームページ <https://shinshu-kaikan.jp/>

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃継続事業

若者教化立ち上げ応援プロジェクト 募集要項



**若者と出会い、教えに聞く場を共にひらきたい！
そんなあなたの思いをかたちにする応援プロジェクトです。**

一人の若者を誘って共に聞法の座につく

「若い人にもお参りしてほしい」、「お寺で青年会を立ち上げたい」、「同世代の若者と教えを聞いていきたい。だけど、どうしたらいいんだろう？」

若者と精進料理を作って仏教を語り合う場や、若者をさそい講師のお話を聞いての座談会、子育て世代の方を対象とした集いや、ウェブ会議システムを利用して若者と教えを聞く場がこのプロジェクトで立ち上がっています。ぜひ青少年センターまでご連絡ください。

あなたと若者との出会いの場を一緒に準備していきませんか？

- 1 **対 象** 寺院、組、別院、有志の会（真宗大谷派僧侶・門徒によるもの）
- 2 **募 集** 70会所（2023年度～2025年度）※残：14会所（2026年2月現在）
※本プロジェクトは募集定数に達するまで継続して実施します。
（2026年6月に終了）
- 3 **内 容** ①必要に応じて、寺院活性化支援員が事前相談に伺い、状況に合わせた方法を共に考えます。（事前相談に係る寺院活性化支援員派遣費用は、下記経費とは別途企画調整局にて負担します）
②事業の講師・スタッフ等の経費を補助します。
（1会所 上限55,000円）
- 4 **応募方法** 青少年センターへご連絡ください。

青少年センター

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199
しんらん交流館内
TEL 075-354-3440 FAX 075-371-6171
メール oyc@higashihonganji.or.jp



解放運動推進本部 女性室

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地 真宗教化センター しんらん交流館
TEL.075-371-9247 FAX.075-371-6171

第25回「女性会議」開催要項

テーマ いちにん 一人に立つ ～ケア労働と私～

近年の女性会議では、「一人に立つ」のテーマをもとに、女性の一人としての尊厳について学んできました。昨年は京都大学白眉センター特定准教授の大谷由香先生をお招きして、「仏典にみる女性出家者の困難とその解消」の講義をいただき、女性が出家修行者となるうえでの困難と、女性が出家修行者として活躍するために男性が果たした事例について、仏典をとおして学びました。

講義の中で大谷先生は、「他者のケアを担う立場にある女性を解放し、独占的にケアを受ける立場にある男性に自身のケアを担わせるのが「出家」と指摘されました。このことは、出家教団ではないものの、私たち真宗大谷派教団においても、寺院におけるケア労働の対等な分担が女性による宗門活動の活性化のために不可欠であることを示しています。

そこで今回は、社会学が専攻で、ジェンダーと再生産／ケア労働を研究されている、実践女子大学教授の山根純佳先生をお招きして、寺院・家庭におけるケア労働の分担について考えます。ケア労働という私たちの足元の課題を学ぶことをとおして、男女ともに一人としての尊厳を守ることにつなげたいと思います。一緒に学び、語り合いませんか。

- 1 **日 時** 2026年5月13日(水) 13時から17時まで
- 2 **会 場** しんらん交流館(大谷ホール)・Zoom ※自宅または教務所・教務支所
- 3 **開催方法** 対面・パブリックビューイング(講義・質疑応答はZoom有)
- 4 **講 師** 山根 純佳 氏(実践女子大学教授)
- 5 **日 程**
- | | |
|-------|-------------|
| 13:00 | 開会・趣旨説明 |
| 13:15 | 講義 |
| 14:05 | 休憩 |
| 14:20 | 講義 |
| 15:10 | 質疑応答 |
| 15:40 | 休憩・座談準備 |
| 15:50 | 座談(対面・一部PB) |
| 16:55 | 閉会・解散 |
- ※日程は変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。
- 6 **定 員** 30名
※対面参加の定員とは別に、講義・質疑応答のみオンライン参加を受け入れます。
※宗派内僧侶・門徒 ※性別は問いません。
- 7 **申込方法** 申込フォームからお申し込みください。申込フォームを使用できない方は、解放運動推進本部女性室までメールでお問い合わせください。
- 8 **申込締切** 2026年4月22日(水) 必着 ※ただし、定員に達した時点で締め切らせていただきます。
- 9 **そ の 他** 一部教務所では、講義・質疑応答を同時配信でご覧いただけます。また、あわせて講義後に座談も開催されます。配信及び座談の有無については、最寄りの教務所におたずねください。
- 10 **お問い合わせ** 解放運動推進本部 女性室
TEL:075-371-9247 / FAX:075-371-6171 / E-mail:kaiho@higashihonganji.or.jp



真宗本廟奉仕のご案内

「同朋会館」は、全国から集う方々が寝食を共にし、親鸞聖人の教えを聞き、真宗門徒の生活を習う聞法の道場です。ご門徒・お友達を誘って、真宗本廟奉仕にご参加ください。

お申し込みは上山希望日の40日前までに同朋会館へご連絡ください。

【団体】1団体5名以上で
受付します。

団体参加のお申し込み
(通年募集・テーマ別)...



【個人】ひとりから参加できるテーマのある奉
仕団(おみがき奉仕団、報恩講奉仕団、
お煤払い奉仕団など)があります。

個人参加のお申し込み.....



テーマのある真宗本廟奉仕のご案内

◆真宗本廟おみがき奉仕団 申込締切：2026年5月29日(金)

【2泊】7月8日(水)～7月10日(金)／【1泊】7月8日(水)～7月9日(木)

盂蘭盆会を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。

※2026年7月1日より、同朋会館賞加金を改定します。

詳細は『真宗』誌2025年9月号16頁または宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

【参加費】〈2泊3日〉22,000円、米2kg(1升4合)または米代1,500円
〈1泊2日〉16,000円、米1.2kg(8合)または米代900円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。



◆真宗本廟中学生・高校生奉仕団 申込締切：2026年6月28日(日)

【2泊のみ】8月7日(金)～8月9日(日)

全国から集まった同世代の人と寝食を共にしながら、人間関係や自分自身についてあらためて考える奉仕団です。

【講師】金石潤導氏(北海道教区開正寺) 【対象】中学1年生から高校3年生まで

【定員】30名

【参加費】中学生11,000円／高校生16,000円、米2kg(1升4合)または米代1,500円

●真宗本廟奉仕施設の利用について...



●「縁」一納骨・帰敬式同朋会館宿泊プランー...
納骨・帰敬式でのご参拝の際、同朋会館にご宿
泊いただけます。



【研修部(同朋会館) TEL：075-371-9185】

現在受付中の募集・開催要項等

詳細は本誌もしくは宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

◆南米開教区開教使募集要項(本誌1月号42頁)

随時募集(派遣者が定員に達した時点で募集を終了いたします)

組織部(国際室)【TEL：075-371-9187／E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp】



法話のご案内(2026年3月)

	晨 朝 法 話 (御影堂)	真 宗 本 廟 法 話 (視聴覚ホール/御影堂/参拝接待所仏間)	しんらん交流館 定例法話
日 曜	7:30～7:50	10:10～10:35 / 13:10～13:35	14:00～15:30
1 日	濱松 智弘 (新潟)	濱松 智弘 (新潟)	山田 孝夫 (京都)
2 月	山田 孝夫 (京都)	山田 孝夫 (京都)	
3 火	稲垣 直来 (大阪)	真宗本廟法話はありません	休会
4 水	川端 裕敬 (京都)	川端 裕敬 (京都)	川端 裕敬 (京都)
5 木			有馬 宗之 (福井)
6 金	有馬 宗之 (福井)	有馬 宗之 (福井) 6日午前はありません	有馬 宗之 (福井)
7 土			直林 真 (能登)
8 日	直林 真 (能登)	直林 真 (能登)	直林 真 (能登)
9 月			建部 智宏 (大阪)
10 火	建部 智宏 (大阪)	建部 智宏 (大阪)	近藤 龍磨 (岐阜高山) (大谷婦人会定例法話)
11 水			太田 浩史 (富山) 12日は10時～
12 木	太田 浩史 (富山)	太田 浩史 (富山) 12日午前はありません	太田 浩史 (富山)
13 金			有賀 尚子 (京都)
14 土	有賀 尚子 (京都)	有賀 尚子 (京都)	有賀 尚子 (京都)
15 日			伊藤 俊作 (小松大聖寺)
16 月	伊藤 俊作 (小松大聖寺)	真宗本廟法話はありません	藤井 乗 (富山)
17 火	藤井 乗 (富山)	藤井 乗 (富山) 午前は9時20分～	休会
18 水	和田 隆彦 (山陽四国)		尾畑 英和 (岐阜高山)
19 木	藤川 秀行 (京都)	尾畑 英和 (岐阜高山) 午前は9時20分～	尾畑 英和 (岐阜高山)
20 金	尾畑 英和 (岐阜高山)		直林 真 (能登)
21 土	直林 真 (能登)	直林 真 (能登) 午前は9時20分～	不破 英明 (大垣)
22 日	加藤 正現 (小松大聖寺)	不破 英明 (大垣) 22日午前は10時15分～、23日午前は9時20分～、 23日午後はありません	休会
23 月	不破 英明 (大垣)		三好 泰紹 (大阪)
24 火	三好 泰紹 (大阪)	三好 泰紹 (大阪) 25日午前は9時30分～、 24日午前・25日午後はありません	休会
25 水	上村 公志郎 (九州)		廣崎 秀行 (京都) 27日は10時～
26 木	廣崎 秀行 (京都)	廣崎 秀行 (京都) 27日午前はありません	廣崎 秀行 (京都) 27日は10時～
27 金	三枝 正尚 (岐阜高山)		
28 土	中嶋 智真 (大垣)	磯野 淳 (京都) 28日午前は9時30分～、 28日午後はありません	磯野 淳 (京都)
29 日	磯野 淳 (京都)		府録 雄司 (北海道)
30 月	府録 雄司 (北海道)	府録 雄司 (北海道)	府録 雄司 (北海道)
31 火		真宗本廟法話はありません	

※講師・時間・会場等は、都合により変更になる場合があります。

※彼岸会期間中(3月17日～23日)は、午前9時20分から御影堂にて彼岸会法話があり、22日は永代経総経の法話です。

※毎月10日はしんらん交流館において、大谷婦人会定例法話会があります。

大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内

大谷祖廟は親鸞聖人の御廟所であり、聖人をはじめ、本願寺の歴代、全国各地の寺院・ご門徒の方々のご遺骨が納められています。

開門：5時 閉門：17時

納骨・永代経・読経受付時間 8時45分～11時30分／12時45分～15時30分

※11時30分～12時45分までは受付を休止しています。

永代経法要 毎日14時30分～15時 定例法話 毎月13日・28日（8/13、9/28、11/28、12/28は休止）
永代経法要後

のう こつ えい たい きょう
納骨・永代経



※外装を除く、高さ15cm・直径9cm（3寸壺以下）を超える容器であり、1種から4種で納骨のお申込みをされる場合は、納骨体数毎に志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。

※改葬（墓じまい等）の場合は容器の大小問わず、志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。

※納骨された遺骨はお返しすることができません。

種別	志納額	読経	お取り扱い
別座1等	1,000,000円以上	別座読経	納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会・盂蘭盆会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に30年間案内状送付
別座2等	500,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に20年間案内状送付
別座3等	300,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に10年間案内状送付
別座4等	150,000円以上		毎月の命日に永代読経 祥月命日に10年間案内状送付

種別	志納額	志納額 【容器大／改葬】	読経	お取り扱い
1種	100,000円以上	120,000円以上	一座読経	毎月の命日に永代読経。祥月命日に10年間案内状送付
2種	70,000円以上	90,000円以上		祥月命日と彼岸会（春または秋）に永代読経
3種	40,000円以上	60,000円以上		彼岸会（春または秋）に永代読経
4種	20,000円以上	40,000円以上		永代経のお取り扱いはございません

かいそうのうこつ し 改葬納骨志

「墓じまい」等に伴って、改葬されたご遺骨を受付する際に、「法名」・「俗名」・「命日」等の情報が一切不明の場合、改葬納骨志20万円以上のご志納により受付させていただきます。

詳細内容を確認させていただくため、改葬納骨志を希望される場合は、事前に大谷祖廟事務所までお問い合わせください。

ど きょう
読経

（お経のみのお扱いです）



種別	志納額	場所	読経の扱い
賀慶殿別座読経	70,000円以上	賀慶殿	別座読経
茶所別座読経	50,000円以上	茶所仏間	別座読経
本堂読経	7,000円以上	本堂	一座読経
茶所読経	5,000円以上	茶所仏間	一座読経
御廟読経	5,000円以上	御廟	一座読経
総経	1,000円以上	御廟	夕刻に総じて読経

●団体参拝について…



●仏前結婚式について…



●施設利用について…



〔大谷祖廟事務所 〒605-0071 京都市東山区円山町477
TEL：075-561-0777 FAX：075-533-0780〕



真宗教化センター しんらん交流館のご案内

教化情報の発信・交流の拠点として、人と人をつなぐ地域に開かれた行事を開催しています。

東本願寺日曜講演 9時30分～11時

3月1日 大阪教区昭徳寺住職 山口知丈氏「いのちをつぐともがら」

3月8日 大谷大学准教授 上野牧生氏「世親から親鸞へ」

3月15日 教学研究所研究員 青柳英司氏「真宗と日本語」

3月29日 教学研究所所員 難波教行氏「『教行信証』坂東本に遇う」

※3月22日は休会

◆月刊法話『ともしび』（東本願寺日曜講演や親鸞聖人讃仰講演会の抄録を掲載）

2026年3月号「人生をならう（講）いえ（堂）の住人」

相馬 豊氏（金沢教区道因寺住職・修練道場長）

1部165円（税込・送料別）

お申し込みは東本願寺出版（TEL：075-371-9189）まで



しんらん交流館定例法話 お勤め14時～、法話14時30分～15時30分（毎月12日・27日は10時～）

※3月10日を除く毎週火曜日・3月22日休会。その他都合により休会する場合があります。

3月の日程は本誌54頁もしくは宗派ウェブサイト…



電話相談「東本願寺 いのちとこころの相談室」 毎週木曜日13時～17時

皆さまのお悩み・ご相談をお聞きます。 TEL：075-371-9280

東本願寺文庫・絵本コーナー 9時～16時30分 ※絵本コーナーの閲覧は17時まで

書籍・絵本の閲覧、貸し出しを行っています。

浄土真宗ドットインフォ（しんらん交流館ホームページ）のご案内

お寺のサポート情報・浄土真宗の教えにふれる情報を配信しています。



〔真宗教化センター しんらん交流館 【開館時間／9時～17時 休館日／毎週火曜日】
〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地
TEL：075-371-9208 メール：shinrankoryukan@higashihonganji.or.jp〕

真宗本廟 参拝接待所のご案内

真宗本廟収骨・読経・帰敬式・お斎・団体参拝の受付を行っています。【開所時間／9時～16時】
【真宗本廟開門・閉門時間／3月～10月：5時50分～17時30分、11月～2月：6時20分～16時30分】

各種お申し込み受付時間・お取り扱いの予定は本誌60頁～61頁



真宗本廟収骨



法義相続・本廟護持を願いとする相続講金を12万円以上お納めいただきますと、その御扱いとして、御影堂の宗祖親鸞聖人御真影のもとに、ご遺骨をお収めさせていただきます。

- 事前の手続き**
- ①相続講金をお手次ぎ(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「真宗本廟収骨證」の発行を受けてください。参拝接待所では、「収骨證」発行の手続きをしておりません。必ず事前手続きを行ってください。
 - ②「収骨證」発行の際に配布される参拝案内冊子『参拝される皆さまへ』(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ウェブサイトから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。
- ※「収骨證」1枚につき、1体のお収めとなります。
- 当日の受付**
- ①ご遺骨に「収骨證」を添えて、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。
 - ②ご遺骨は参拝接待所にて7cm角の桐箱にお移し替えいたします。お収めしたご遺骨はお返しできません。また桐箱の容量を超えるご遺骨はお返しすることになります。

《お斎付真宗本廟収骨について》
※相続講金を1体につき30万円以上お納めいただきますと、規定人数分(3名)のお斎の接待があります(要事前申込)。
詳細は教務所または参拝接待所までお問い合わせください。

本山読経



本山永代経	御影堂にて永代経の御紐解(初めての読経)を行い、『法名記』に登載します。以後、春・秋彼岸会中にお勤めする「永代経総経」にご案内いたします。
御影堂読経	御影堂にて一座読経いたします。受付時に法名紙をお渡しし、代表者に法名を清書いただきます。法名紙は読経の際(焼香時)に広蓋に納めていただきます。
仏間読経	参拝接待所仏間に一座読経いたします。参拝接待所受付に当日お申込みください。 ※都合により読経場所を変更する場合があります。

種別	読経志	読経扱	お斎接待
本山永代経	別座特等	1,000,000円以上	完全別座
	別座一等	500,000円以上	別座
	別座二等	300,000円以上	別座
	別座三等	200,000円以上	別座
	四等	100,000円以上	一般
	五等	50,000円以上	一般
御影堂読経	30,000円以上	一般	なし
仏間読経	10,000円以上	随時	なし

《本山永代経・御影堂読経の事前の手続き》

- ①読経志をお手次(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「永代経御紐解證」・「御影堂読経参詣證」の発行を受けてください。
 - ②「永代経御紐解證」・「御影堂読経参詣證」発行の際に配布される参拝案内冊子『参拝される皆さまへ』(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ウェブサイトから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。
- ※本山永代経四等、本山永代経五等、御影堂読経は当日申込できます。

《本山永代経・御影堂読経の当日の受付》

- 「永代経御紐解證」または「御影堂読経参詣證」を必ず持参の上、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。
- 《完全別座読経について》 読経志100万円以上お納めいただきますと、親族のみでの別座にて読経の上、希望数のお斎の接待があります(要事前申込)。
- 《別座読経について》 読経志を20万円以上お納めいただきますと、別座(同日に他に別座の申込がある場合はご一緒の案内)にて読経の上、上記のとおりお斎の接待があります(要事前申込)。
- ※完全別座、別座の受付は10時までとなります。当日は10時までに受付をお済ませください。

帰敬式



帰敬式は、仏・法・僧の三宝に帰依し、仏弟子となる大切な儀式です。
真宗本廟では、基本的に毎日、午前と午後には執行しています。

当日の受付 参拝接待所にて9時から受付をいたします。
お礼金 お一人10,000円(20歳以下5,000円)

- お斎について……………
精進料理のお膳を書院でお召し上がりいただけます。
- 真宗本廟団体参拝について……………
諸殿拝観や清掃奉仕等を通して、真宗の教えにふれていただくことを願っています。



晨朝法話・真宗本廟法話(詳細は本誌54頁)

晨朝【阿弥陀堂及び御影堂】毎日7時～ 晨朝法話【御影堂】毎日7時30分頃～
真宗本廟法話【視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間】
通常：10時10分～／13時10分～ 連夜日(12日・27日)：13時10分～
御命日(28日)：9時30分～ 法要・法話のご案内…

参拝接待所ギャラリー 9時～16時 入場無料

「蓮如上人御影道中展」(1階) 3月26日まで
「親鸞聖人のご生涯」(地下1階)

渉成園(枳殻邸)

開園時間 <3月～10月> 9時～17時(受付は16時30分まで)
<11月～2月> 9時～16時(受付は15時30分まで)
庭園維持寄付金 一人700円以上(高校生・中学生300円以上、小学生以下無料)

【本廟部参拝接待所 TEL：075-371-9210】



渉成園

2026年4月

真宗本廟—収骨・読経・帰敬式—受付時間表

×—お取扱なし ●—お取扱あり ※受付は9:00より開始、()—受付締切変更時間

受付	収骨・読経		帰敬式		法話		備 考
	午前	午後	午前	午後	10:10	13:10	
日 曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1 水	【春の法要】 収骨・読経については、お取扱いはありません（仏間読経のみお取扱があります）。 ご遺骨を持参された場合、参拝接待所にてお預かりし、4日にお取めいたします。		● (9:30)	×	9:30	×	師徳奉讃法要 親鸞聖人御誕生会（音楽法要）
2 木			● (9:30)	×	×	×	全戦没者追弔法会
3 金			●	×	10:20	×	相續講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会 午後荘厳払い
4 土	●	●	●	●	●	●	
5 日	●	●	●	●	●	●	
6 月	●	●	●	●	●	●	
7 火	●	●	●	●	●	●	
8 水	●	●	●	●	●	●	
9 木	●	●	●	●	●	●	
10 金	×	×	×	×	×	●	住職・教会主管者在任50年記念登壇呈呈式
11 土	●	●	●	×	●	●	一如上人御祥月命日速夜
12 日	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御荘厳 先門首御祥月命日速夜
13 月	●	×	●	×	9:30	×	先門首御祥月命日中 午後御荘厳 孫如上人御祥月命日速夜
14 火	●	●	●	×	●	●	歌徳院殿御命日速夜
15 水	×	×	×	×	9:30	×	立教開宗記念法要 午後御荘厳払い
16 木	●	●	●	●	●	●	
17 金	×	×	×	×	●	×	蓮如上人御影吉崎別院御下向式
18 土	●	●	●	●	●	●	
19 日	●	●	●	●	●	●	
20 月	●	●	●	●	●	●	
21 火	●	●	●	●	●	●	
22 水	●	●	●	●	●	●	
23 木	●	●	●	×	●	●	緯如上人御祥月命日速夜
24 金	●	● (14:10)	×	● (14:10)	●	●	蓮如上人御命日速夜
25 土	●	●	●	●	●	●	
26 日	●	●	●	●	●	●	
27 月	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御荘厳 宗祖聖人御命日速夜
28 火	●	×	●	×	9:30	×	宗祖聖人御命日中 住職任命式
29 水	●	●	●	●	●	●	
30 木	●	●	●	●	●	●	

2026年5月

真宗本廟—収骨・読経・帰敬式—受付時間表

※帰敬式について、住職選定法名での受式をご希望の場合は、受式の1ヵ月前までに参拝接待所までお申し込みください。

受付	収骨・読経		帰敬式		法話		備 考
	午前	午後	午前	午後	10:10	13:10	
日 曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1 金	●	●	●	●	●	●	
2 土	●	●	●	●	●	●	
3 日	●	●	●	●	●	●	
4 月	●	●	●	●	●	●	
5 火	×	●	×	●	×	●	
6 水	×	×	×	×	×	●	得度式
7 木	●	●	●	●	●	●	
8 金	●	●	●	●	●	●	
9 土	●	×	●	×	●	●	蓮如上人御影御帰山式
10 日	●	●	●	●	●	●	
11 月	●	●	●	●	●	●	
12 火	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御荘厳 先門首御命日速夜
13 水	●	●	●	●	●	●	
14 木	●	●	●	×	●	●	歌徳院殿御命日速夜
15 金	●	●	●	●	●	●	
16 土	●	●	●	●	●	●	
17 日	●	●	●	●	●	●	
18 月	×	×	×	×	●	●	
19 火	●	●	●	●	●	●	
20 水	●	●	●	●	●	●	
21 木	●	●	●	×	●	●	常如上人御祥月命日速夜
22 金	●	●	●	●	●	●	
23 土	●	●	●	●	●	●	
24 日	●	● (14:10)	×	● (14:10)	●	●	蓮如上人御命日速夜
25 月	●	●	●	●	●	●	
26 火	●	●	●	●	●	●	
27 水	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御荘厳 宗祖聖人御命日速夜
28 木	●	×	●	×	9:30	×	宗祖聖人御命日中 住職任命式
29 金	●	●	●	●	●	●	
30 土	●	●	●	●	●	●	
31 日	●	●	●	●	●	●	

公示・告示・任免等

公示告示

1 達令公示

公示番号	達令	公示日	主な内容
第18号	会計条例施行条例の一部を改正する達令	2025年12月25日	宗派財政の現況及びインフレ情勢に鑑み、より効果的な資金保管を行うための改正。
第19号	資金保管規程の一部を改正する達令	2025年12月25日	同上

※公示文は、宗派公式ウェブサイトに掲載しています。



告示第12号

北海道札幌市白石区菊水四条一丁目6番21号

照願寺衆徒 西田成彬

北海道上川郡美瑛町本町三丁目1番36号

大正寺衆徒 桑谷 力

北海道北見市大町130番地

常念寺衆徒 橋本智雄

青森県東津軽郡平内町大字小湊字愛宕14番地2号

照護寺衆徒 寺嶋靖廣

青森県東津軽郡平内町大字小湊字愛宕14番地2号

照護寺衆徒 寺嶋達精

埼玉県さいたま市大宮区浅間町二丁目159番地1

宗泉寺衆徒 大久保正孝

埼玉県さいたま市大宮区浅間町二丁目159番地1

宗泉寺衆徒 岡野幾代

新潟県長岡市中之島253番地

願勝寺衆徒 長尾 浩

三重県いなべ市員弁町西方357番地

妙光寺衆徒 齋川雄紀

三重県四日市市本郷町5番6号

正福寺前住職 古市宏幸

三重県四日市市本郷町5番6号

正福寺衆徒 古市 眞

滋賀県長浜市木之本町古橋1241番地

徳恩寺衆徒 下田正和

滋賀県犬上郡豊郷町大字高野瀬491番地

福等寺衆徒 岩佐徳了

大阪府大阪市淀川区十三元今里一丁目7番34号

空樂寺衆徒 林 正見

福岡県久留米市三潁町玉満2052番地

徳泉寺衆徒 高橋 静

鹿児島県鹿児島市武一丁目15番21号

正縁寺衆徒 上村良忠

鹿児島県阿久根市高松町19番地

明信寺衆徒 橋口 勝

鹿児島県阿久根市高松町19番地

明信寺衆徒 平野悦子

上記の者は、5年以上所属寺を離れてその所在が明らかでない、本人及び本人の所在もしくは死亡を知り又は知ったことがある者は、自己現在地所轄教務所を経て届け出られたい。本日より6ヵ月以内に届け出のないときは、僧侶条例第19条により僧籍を削除する。

2025年12月22日

宗務総長 木 越 渉

任免辞令

本廟部定衆 藤原 忍

登高座教授師に任命します

期間 2026年1月13日から16日まで

鍵役 大谷浩之

登高座伝授師に任命します

期日 2026年1月16日

本廟部堂衆 鈴木友好

御伝鈔教授師に任命します

期間 2026年2月4日から6日まで

御伝鈔伝授師に任命します

期日 2026年2月6日

(以上、2025年11月10日)

尾畑文正 木全和博 里雄康意

宗務顧問会顧問を委嘱します

期限 2026年6月30日まで

(12月23日)

真城義磨 五来範行

行財政改革参与を委嘱します

期限 2026年12月24日まで

(12月25日)

本廟部嘱託 加藤 慶

願により役務を免じます

(12月31日)

小山恵子

新潟教務所嘱託に任命します

期限 2026年12月31日まで

(2026年1月1日)

鈴木哲郎

本廟部嘱託に任命します

期限 2026年12月31日まで

(1月6日)

澤井 聡

江差別院輪番に任命します

任期 2030年1月15日まで

(1月16日)

住職代務者

北海道教区第2組 蘭林寺

阿知波一道

東北教区秋田県南組 西雲寺

今井 覚

新潟教区中越11組 妙樂寺

竹内清史

新潟教区第19組 明教寺

小柳 円

新潟教区第23組 淳照寺

本間正紹

新潟教区第23組 相琳寺

片山 彰

新潟教区第23組 通恵寺

清水和元

能登教区第8組 成榮寺

豊田榮夫

能登教区第13組 大泉寺

長谷部隆男

金沢教区第7組 法句寺

北方久美子

福井教区第4組 西徳寺

北條邦治

岐阜高山教区第14組 心宗寺

河合 尚

名古屋教区第6組 善慶寺

濱田 敏

名古屋教区第9組 専西寺

武田 龍

名古屋教区第21組 大乘寺

大矢俊宏

名古屋教区第25組 淨恩寺

栗山光義

京都教区長浜第16組 普照寺

澤面宣了

京都教区長浜第17組 善力寺

堀 顕成

京都教区長浜第22組 光乗寺

藤居尊昭

京都教区近江第4組 退光寺

内田高峰

京都教区近江第11組 光源寺

谷内正孝

京都教区近江第26組 妙専寺

藤井智紹

京都教区若狹第1組 光久寺

臨 徹

京都教区石西組 専教寺

木戸尚志

大阪教区第2組 淨願寺

清水 拓

教会主管者代務者

北海道教区第2組 横潤教会

西田靖郎

名古屋教区第32組 有松教会

山田法和

教 師

権大僧正

本間正順

僧正

高橋晃俊 阿野了明 西山 智

正福寺 同門会 発行 表紙

東本願寺出版発行書籍の表紙や裏表紙に、文字を印字することができます(例:住職継承記念)。

詳細は宗派公式ウェブサイト「各種記念品の取り扱い」からご覧ください⇒

【お問い合わせ】東本願寺出版【books@higashihonganjii.or.jp】

伽羅・沈香・線香・匂い袋

香老舗 薰玉堂 KUNGYOKUDO

創業文禄三年(1594年) 〒600-8349 京都市下京区堀川通西本願寺門前
電話 (075) 371-0162 代
ファクシミリ (075) 343-1459

香

創業宝永年間 各宗大本山御用達

香老舗 松榮堂

京都市中京区烏丸二条上ル 京東側
〒604-0857 電話 075 (212) 5590 (代)
www.shoyeido.co.jp

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174 京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075) 351-6325
フリ-FAX 0120-89-6255
定休日: 日曜日

御本山御用達

薫燭 わた悟 薫香

わた悟商店

〒600-8223 京都市下京区七条通西洞院西入大黒町239
TEL 075-371-7690 FAX 075-371-8752

権僧正

平 祐紀 駒月善見

大僧都

藤谷 勉 酒井恵昭 山田 靖

権大僧都

伊藤 了 谷内諦龍 伊與田兼明

僧都

波房聖仁 長原善信 正山 禪

権僧都

渡邊 誉

権律師

達伊優香 鷺森邦弘

法師位

玉腰晩広 本井義明 多田正博

入位

吉澤大進

学 階

学師

吉澤大進

教導発令

加藤雅輝

特派教導に任命します

蓮如上人御影道中 御下向

期間 2026年4月17日から4月23日まで

渡邊 誉

特派教導に任命します

蓮如上人御影道中 御上洛

期間 2026年5月2日から5月9日まで

(以上、2026年1月6日)

金石潤導 白山敏秀 嶋地正孝 酒井 智
名畑 格 高名光丸 結柴依子 桂川正見
菅生 鈴 鈴木善巧 小丸洋子 堀 秀隆
本多雅人 二階堂行壽 酒井義一 海 法龍
永寶 卓 藤吉 禪 武樋隆如 池田 陽
渡邊 学 藤岡俊也 大久保州 水嶋 聡

梅澤未有 比後 孝 滋野憲史 豊島 信
竹田 証 見義悦子 篠川弘一 佐賀枝立
小塚弘道 野田博俊 加賀田晴美 太田浩史
梨谷真嗣 鶴松 普 畠山 淳 國分大慶
藤場芳子 坂本 学 細川公英 谷 涼雅
加藤雅輝 日野賢之 柿原 勲 伊藤俊作
加藤彰教 加藤正現 清水 恵 牧野恵丸
佐々本尚 平等良香 有馬宗之 佐々木正博
三枝正尚 三島見らん 江馬雅臣 近藤龍磨
梅溪祐慶 桑田正人 和田英昭 梅溪得文
藤 祐樹 安藤正顕 太宰不二夫 不破英明
中嶋智真 伊奈恵祐 安藤誠也 鈴木量広
鶴見 幹 馨 敏郎 栗本 元 岩田好司
飯田正範 一柳淳徳 荒山 淳 狐野やよい
中川和子 大橋宏雄 西寺真也 岩田信行
藤井基和 京極真了 一色 孝 澤面宣了
佐藤義成 平原晃宗 谷 大輔 藤川秀行
長 紀子 長田浩昭 藤枝良太 藤浪 遊
前田賢龍 墨林 浩 高橋法信 稲垣洋信
松本曜一 稲垣直来 山雄竜磨 西堀秀行
松浦 至 南枝 暁 木村 慎 望月廣三
藤井大介 和田隆彦 宮武真人 田中将登
浅湊秀教 浜口和也 伊藤 洋 津垣慶哉
河野通成 足利栄子 梯 宗 大城史雄
三池真弓 武宮創志 田中顕昭 尺一 聡
竹下秀覚 保々真量 上村公志郎 福嶋龍徳
海 紀磨 下津悦子

同朋会館教導に任命します

(1月10日)

功章旌賞

特殊功章

下妻 覚 相場知行 正山 禪

第一功章

稲葉佳代 玉腰晩広 服部洗一 曲 尚之 山香 遼
八木 昭

第三功章

一ノ宮恵裕

第八功章

毛利祐見 山名大河 川西清幸

特殊大旌賞

高橋見俊 森 清行 阿野了明 園田英夫

特殊旌賞

平 祐紀 渡邊智龍 小野賢明 仁科高遠 下妻 覚

松山成慶

一等旌賞

稲葉佳代 玉腰晩広 服部洗一 曲 尚之 山香 遼

三等旌賞

一ノ宮恵裕

八等旌賞

七尾了俊 細谷三千照 平松理慧 篠川弘一 富 皓世
西本真実 小島安沙 佐々木智海 藤崎 篤 川西清幸
齊藤立人 齊藤真人 齊藤行人

所在地変更

能登教区第1組 照徳寺

石川県羽咋郡宝達志水町小川ハ78番地

懲 戒

下記のとおり懲戒に処せられたから審問条例第45条
第2項により、これを掲示する。

2026年1月13日

宗務総長 木 越 渉
記

- 1 氏 名 勝尾 浩正
- 2 僧籍及び身分 東京教区千葉組 恵光寺 住職
- 3 懲 戒 軽懲戒2年に処する
- 4 判定確定日 2026年1月13日

以 上

敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(2025年12月16日～2026年1月15日受付まで)

住職及び前住職

北海道教区 第1組 観意寺
前住職 酒 井 恵 昭
2025・10・28寂 (93歳)

東京教区 東京1組 正見寺
住 職 伊與田 兼 明
2025・9・8寂 (79歳)

東京教区 山梨組 萬勝寺
住 職 多 田 正 博
2025・7・1寂 (76歳)

東京教区 長野3組 而來寺
前住職 鷲 森 邦 弘
2025・10・16寂 (96歳)

新潟教区 第23組 幸照寺
住 職 本 間 正 順
2025・9・17寂 (75歳)

能登教区 第2組 明照寺
住 職 松 山 成 慶
2025・8・31寂 (90歳)

能登教区 鶴川組 一念寺
住 職 藤 谷 勉
2025・12・6寂 (92歳)

大垣教区 第8組 發心寺
住 職 駒 月 淳 見
2025・9・8寂 (90歳)

名古屋教区 第32組 圓龍寺
前住職 山 田 靖
2025・10・19寂 (97歳)

京都教区 近江第1組 景澤寺
住 職 八 木 昭
2025・12・1寂 (96歳)

御香・蠟燭

財木屋

〒602-8034 京都市上京区油小路通丸太町上ル
TEL(075)231-1063 FAX(075)231-1068

声明
聖典法話
動画

CD・DVD教化教材
すねいる

直販ネットショップ
amazon、Yahooから購入出来ます。

〒600-8319 京都市下京区若宮通り七条上る竹屋町681-2
TEL 075-343-0240 FAX 075-371-0871

駐車場・不動産(運用・活用)
もお任せ下さい

キョウテク
株式会社

〒600-8172 京都市下京区不明門通五条下ル
tel.075-365-8000 http://kte.ne.jp

輪島塗記念品・調度品・什器・家具・修理品など承ります。

漆の里
輪島 Wajima
Wajima Encompasses the traditions of Japan.

輪島塗本舗 うるし屋

うるし屋ショールーム
総店へお越しの際は
ぜひお魚を寄らせていただきます。
心よりお待ちしております。
(朝市へ徒歩1分です。)

電話 0768-23-0188 フリーダイヤル 0120-23-0856 FAX0768-23-0089
〒928-0001 石川県輪島市河井町4部99(朝市通り東) 営業時間AM8:30～PM7:00 毎週日曜日定休

京都教区 近江第2組 西蓮寺
前住職 園田 英夫
2025・11・1寂(95歳)

京都教区 近江第1組 光源寺
住職 谷内 諦龍
2025・11・4寂(85歳)

坊守及び前坊守

北海道教区 第2組 高德寺
前坊守 清水口 信子
2025・11・2寂(96歳)

新潟教区 第2組 善照寺
前坊守 本間 和子
2025・8・25寂(100歳)

富山教区 第7組 常願寺
前坊守 松谷 徳子
2025・11・7寂(94歳)

富山教区 第7組 永徳寺
前坊守 長澤 扶美子
2025・10・21寂(97歳)

能登教区 第5組 永法寺
前坊守 慶塚 照子
2025・11・12寂(94歳)

金沢教区 第9河北組 聖徳寺
前坊守 洲船 勝美
2025・8・23寂(100歳)

福井教区 第10組 西光寺
前坊守 朝倉 晴子
2025・8・14寂(91歳)

京都教区 石西組 西藏寺
前住職 西山 智
2025・11・12寂(101歳)

岡崎教区 第17組 西岸寺
前坊守 松林 みつ子
2025・11・7寂(98歳)

京都教区 長浜第12組 光圓寺
坊守 高堂 都志枝
2025・12・5寂(66歳)

京都教区 近江第5組 西恩寺
前坊守 近藤 暁美
2025・8・27寂(77歳)

大阪教区 第15組 安通寺
坊守 楠本 悦子
2025・11・25寂(64歳)

大阪教区 第17組 願行寺
前坊守 岡橋 幸代
2025・8・20寂(103歳)

山陽四国教区 備中組 光明坊
前坊守 勝間 武子
2025・11・15寂(95歳)

まずは電話、メールなどでご連絡ください。
日程相談の上参上いたします。

毎月全国へ出張訪問中

寺宝 正絹金襴緞子
文化財修理修復表装

表具幅 83cm まで 正絹 44 万円(税込)

表具幅 70cm まで 正絹 38 万円(税込)

御絵伝・七高僧・聖徳太子

杉本工芸

〒602-8268 京都市上京区山里町 236-1
TEL 075-417-6966
sugikake@gmail.com

見積無料

そろそろ
修理

宗派関連ウェブサイト等のご案内



【SNSのご案内】

Facebook

- ・真宗大谷派（東本願寺）
- ・しんらん交流館
- ・東本願寺 同朋会館（真宗大谷派 研修部）
- ・真宗大谷派青少年センター ・親鸞仏教センター
- ・真宗大谷派（東本願寺）真宗会館
- ・真宗大谷派学校連合会



Instagram

- ・東本願寺 しんらん交流館
(shinrankoryukan_higashihonganji)
- ・東本願寺出版 (higashihonganji_bookstore)



X(Twitter)

- ・真宗大谷派（東本願寺） (@OTANIHA_PR)
- ・真宗大谷派 災害情報 (@otaniha_saigai)
- ・東本願寺出版 (@OTANIHA_BOOKS)



宗派公式ウェブサイトで『同朋新聞』がお読みいただけます。

同朋新聞

検索

今月の推薦念珠



赤虎眼石
念珠小売価格
19,800円(税込)
光の反射によって虎の目のように見える
赤虎眼石を用い、二十二玉でお仕立。



パール
念珠小売価格
16,500円(税込)
厳選した真珠にパール型カットをほどこした
こだわりの逸品。ワイン色本調子でお仕立。

福永念珠舗

創業寛政九年 京都

〒600-8174 京都市下京区東本願寺前上珠数屋町角
電話 (075)-351-2960 FAX (075)-351-0018





※掲載商品のカラー画像はオンラインショップでご覧頂けます。



永代経
白山勝久

永代経

2026年版

白山勝久 著

(東京教区東京5組西蓮寺候補衆徒)

永代経の意義について確かめる小冊子。
永代経のお参りの際、ぜひご門徒の方々にお配りください。

新書変形判／8頁 定価：66円(税込)



東本願寺出版

TEL:075-371-9189まで

詳しい書籍情報・試し読みは
東本願寺出版 [検索](#)

当派の寺院・教会からの
ご注文は2割引となります。

お知らせ 第60回「京の冬の旅」大寝殿・宮御殿・鐘楼 特別公開

毎年冬に開催される京都市・京都市観光協会主催のキャンペーン「京の冬の旅」において、「大寝殿」「宮御殿」を僧侶が案内します。また、修復後初めて鐘楼の見学も実施します。この機会にぜひご参拝ください。


◆「大寝殿」「宮御殿」「鐘楼」特別公開 ※事前予約制


期間 2026年1月9日(金)～3月18日(水) 毎週水曜～土曜
※2月21日・27日、3月4日・6日・12日は休止

時間 各日9時～(1日1回・所要時間約80分～90分)


料金 小学生以上 1名当たり2,700円

詳細・予約は「京の冬の旅」特設サイトをご覧ください→





宮御殿 冬の間



鐘楼

真宗

3月号

公示・告示・任免等 ご案内・要項

公示・告示・任免等

公示・告示	(2)
任免辞令	(2)
住職代務者	(3)
教会主管者代務者	(3)
教師	(3)
学階	(4)
教導発令	(4)
功章・旌賞	(4)
所在地変更	(5)
懲戒	(5)
敬弔	(5)

ご案内・要項

宗派関連ウェブサイト等のご案内	(7)
真宗本願取骨・読経・帰敬式受付時間表(4月～5月)	(8)
真宗本願 参拝接待所のご案内	(10)
大谷祖廟(親鸞聖人御廟所)のご案内	(12)
真宗教化センター しんらん交流館のご案内	(13)
真宗本願奉仕のご案内	(14)
現在受付中の募集・開催要項等	(14)
法話のご案内(2026年3月)	(15)
若者教化立ち上げ応援プロジェクト募集要項	(16)
第25回「女性会議」開催要項	(17)
2025年度 ココロダイアル公開講演会 開催要項	(18)
2025年度 心理的サポートの学習会【公開講座】開催要項	(19)
首都圏教化推進本部職員(推進要員)募集要項	(20)
首都圏教化推進本部職員(法務員)募集要項	(21)
「蓮如上人御影道中」自主参加者募集	(22)
蓮如さんゆかりの吉崎別院での「御文」講習会 参加者募集	(23)
2027年宗務役員(一般職)募集要項	(24)
第109回 中央声明講習会開催要項	(26)
総合相談室	(27)
教区真宗学院生募集要項(金沢・名古屋)	(28)
(広告)月刊「同朋」3月号一特集「服を着る—どんな世界を身にまとう?」	(29)
真宗本願奉仕・縁・読研修報告【上山報告】	(30)

本誌に關してのご意見・ご要望をお寄せください。 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「真宗」誌係
FAX: (075) 371-9211 E-mail: shuppan@higashihonganji.or.jp

2026年(令和8年)3月1日発行 第1464号 1部定価: 275円(本体250円+税10%・送料別 毎月1日発行)

編集 東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
発行所 真宗大谷派宗務所 代表者 木越 渉
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 電話(075)371-9181 振替01000-6-27404(出版部)
印刷所 (株)京富士印刷 京都市西京区大枝南福西町3-4

真鍮製仏具向け洗淨剤

《みぞきれい、ぴかっと》

目詰まりキレイに！泡沫で溝や彫刻細部の汚れ除去！

洗淨剤の改良により、より強い効果が発揮できるようになりました。特に石灰化した研磨剤の目詰まりには強い威力を発揮します。是非、報恩講等ご法要の前のお磨きにご利用ください。



50ml入(スプレー) ……1,760円
200ml入(スプレー) ……5,830円
詰め替え用2000ml入 ……41,800円

※価格はいずれも税込です。

京都本社 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入
築地店 / 札幌店 / 仙台営業所 / 福岡営業所

お仏壇の事なら何でもお気軽にご相談ください。☎ 0120-37-8585

<https://www.wakabayashi.co.jp/>

若林佛具製作所オンラインショップ

<https://www.wakabayashi-jiin.com/>



荘厳仏具から内装・納骨壇まで、全国・宗派対応いたします。
お買い物にお得なクーポン配布中！

《合掌の心と共に197年》



創業天保元年 伝統工芸 京仏壇・京仏具

株式会社 若林佛具製作所

文化財修理 社寺内装・外装工事





株式会社 若林工芸舎

オンラインショップ会員登録(真宗大谷派寺院教会登録)でポイントゲット！

東本願寺出版オンラインショップで会員登録(真宗大谷派寺院教会登録)いただくと、さまざまな便利な機能をご利用いただけます。

まだお済みでない方は、**2/1(日)～3/31(火)**にご登録いただくと、登録時に**500ポイント**をプレゼント！

〈ご登録方法〉

1. 検索エンジンで「**東本願寺出版**」と検索。もしくはこちら➡
2. トップページ右上の  **マイページ** をクリック。
スマートフォンの方は右上のメニューボタン  からマイページに移動できます。
3. ログイン画面が表示されるので
会員登録がまだの方は下の赤いボタン
「真宗大谷派寺院教会登録」へすすみ、必要事項を入力しご登録ください。
4. そのまま東本願寺出版オンラインショップ内での買い物でポイントを使えます！



会員登録がまだの方

会員登録していただくと「注文履歴」や「お気に入り」「ページ閲覧履歴」等の便利機能をご利用いただけます。
ぜひご登録ください。(無料)

新規登録

真宗大谷派寺院教会登録

【お問い合わせ】 東本願寺出版 books@higashihonganji.or.jp